



会報

「指圧との出会い」

日本指圧専門学校同窓会会長

青木 宏



「青木先生は、どうして指圧をするようになったんですか。」と聞かれることがある。現役の学生からのことが多い。卒業生の場合、大半は、卒業から時間があまり立っていない人からで、さすがに先輩から聞かれることはない。わたくしがお目にかかる先輩は、確固たる信念を持って、指圧

をしてもらえるからではないだろうか。

ところで、先の質問に戻り、わたくしの指圧をはじめた動機について考えてみると、わたくしの小学校時代にさかのぼる。小学五年生のとき、青木雅男という先生が、釧路（クシロ。北海道東部、太平洋岸の市。）から、わたくしの通う帯広

市立柏小学校へ転任してこられた。この先生に、われわれはよく説教されたものだ。お説教の好きな先生だったのかもしれない。説教がはじまると、授業はそっちのけで、半日でも、ひどいときには、一日でも続くのである。

この先生は、あるとき、ひとりの生徒が具合悪くなったとき、その生徒を保健室へ連れて行き、指圧をしてやったのである。どこがどう具合が悪くなったのか、記憶は定かではないが、同席したわたくしの目の前で、指圧だよと言いながら治療する先生の動作を見

守っていたことを思い出す。後日、しばらくしてから、先生のお宅へ行ったとき、当時先生は、奥さんと三、四歳の娘さんと、奥さんの実家に同居しておられた。その奥さんのお父さんが、そこで指圧治療院を開業しておられた。恐らく雅男先生は、そのお父さんから、見よう見まねで指圧を覚えたのであろう。一九四〇年代のことである。一九四〇年といえば、わが日本指圧学校創立の年である。わたくしも、雅男先生から指圧してもらったことがあるが、後に、母から、「ヒロシちゃん。肩を自分でちょうだい。」と言われたとき、

直接の動機とは言えないかもしれないが、サラリーマン生活を送りながら、四十代にさしかかる直前、日本指圧学校に入学して、指圧の勉強をする決心をしたとき、他の手技療法ではなく、指圧を選んだ土台には、これまで書いた体験があったからである。

わたくしは、もむより自然に指圧していたように思う。母は、高血圧症で病に臥せていたとき、指圧師の先生に出張治療してもらったことが、何度かある。その母も、わたくしが指圧学校に入る十年ほど前、脳出血で倒れ、一年程で他界した。これら少年時代に遡る体験は、わたくしの指圧を志す

皆さんの指圧との出会い、指圧を勉強する動機は何だったのでしょうか。それにつけても、徳治郎先生が少年時代、リウマチを病んだご母堂に、指圧をしてあげたときの話を思い出します。

「指圧の心母ころ」の原点は、そこにあるのではないかと思う。徳治郎先生が、いまだにわたくしたちの心の中に生きつづけ、今年十一月三日、徳治郎先生の誕生日に、先生の生誕百年を祝う会が開催されることとなりました。世界中から指圧師が集まります。わたくしたち同窓会員も、こぞって参集しましょう。

浪越徳治郎先生ご生誕百周年記念特集

浪越徳治郎先生誕生100年にあたり

学校法人 浪越学園理事長 浪越和民



平成17年(2005年)は、日本指圧専門学校創設者・浪越徳治郎先生誕生100年にあたる記念すべき年であります。また、奇しくも私の浪越学園理事長就任5年目の年でもあります。

その記念行事として、浪越徳治郎の誕生日であります。11月3日に「浪越徳治郎先生100年を祝う会」を開催することにいたしました。父・浪越徳治郎は特に晩年「私は百歳まで生きるのだ」と口にしていましたので、まだ耳に残っております。

平成4年に「浪越徳治郎の米寿を祝う会」が催されましたが、その席で浪越徳治郎は「両親から離れて世に出てからは、多くの人々に指導され、助言をいただき、様々な援助を受けた賜ものと感謝をしております。私は生きてきたのではなく、生かされてきたのである。これからは報恩感謝を忘れることなく世のため人のために尽くしていきたい」と

挨拶しています。そして、本人は賑やかなことが大好きで、当日「来賓いただきたい大勢の恩人・同志・友人そして教え子からの祝福が本人の何よりも大きな喜びでありました。」



父・徳治郎とディズニー・カリフォルニアにて

浪越徳治郎先生と私の出会い

日本指圧専門学校校長 石塚寛

昭和35年、私は当時日本歯科大学第一解剖学教室に勤務しておりましたが、4月の或る日の夕方薬理学教室の伊藤直先生が私のところに参りまして、「伝通院近くにビールを無料で飲ます所があるから今から行く」とのお誘いを受けました。私もビールは嫌いな方ではありませんが、少々は怪訝な気持ちで、そのお誘いを受けました。日本歯科大学から歩いて伝通院のお寺の前まで参りますと、伊藤先生は「此処です」と申され、すたすたと建物の中に入って行きました。お座敷に通されますと、御馳走の並んだ食卓の前に浪越徳治郎先生がお座りになって、御挨拶もそこそこに早速ビールをお注ぎ下さいました。その時私はまだ徳治郎先生のことを、全く存じ上げませんでした。当時弱冠27歳の若僧の私に気軽にお話を頂き、話の内容も人を逸らさぬ話の仕方とかで、初対面にもかかわらずこの方は大人物だと感じました。ビールも大分頂

きまして、良い気持ちになりました。その時、「先生、もうそろそろ出番です」と徳治郎先生が申されました。そして伊藤先生に御案内頂いた所は何と別棟の教室でした。生徒さんは長机を前に畳の上に正座していました。伊藤先生は既に日本指圧学校の非常勤講師をなさっていて、私を生徒に「新任の解剖学の石塚先生をご紹介します。今日はこれから細胞の話をして頂きます。では先生どうぞ」と言われました。ここでやっと伊藤先生の魂胆が解りましたが、もう後には引けません。酔いに任せてとは言えぶっつけ本番でしどろもどろに細胞の話をして3時間、浪越先生の話をして3時間、徳治郎先生の話をして3時間、是非よろしく御願います」とまたビールでねぎらって頂きました。かくしてこのビールの酔いの力もさることながら、徳治郎先生の御人徳に惚れて、私は日本指圧学校の非常勤講師にさせて頂きました。それから

15年間徳島大学に赴任するまで、6期生から21期生の途中まで、非常勤講師を勤めさせて頂き、永く御指導を賜りました。この間の徳治郎先生との思い出は数限りなく、全て懐かしい良い思い出として私の胸裡に残っております。

そして徳島大学定年後、また日本指圧専門学校に今度は常勤として戻って参りましたのも、徳治郎先生の御徳を慕ったことでした。徳治郎先生からも「よく戻って来てくれましたね」と喜んで頂き、この一言に大変感謝し、徳治郎先生の為に、そしてこの学校の為に粉骨砕身努力することを心に誓いました。この気持ちは今も変わらず持ち続け、日夜頑張ろうと思っております。

真中が浪越徳治郎先生、右が私(石塚寛先生)



真中が浪越徳治郎先生、右が私(石塚寛先生)

故浪越徳治郎先生を偲んで

石垣 惟一

一、浪越徳治郎先生との出会

昭和三十七年四月、日本指圧学校に入学許可され二部(夜間部)学生(六期生)として四十余歳にて先生にお目にかかった。

思い浮ぶことは、指圧は医療の原点である。物事をを行うには発心、実行、継続。健康維持には、快食、快眠、快働、快通、快笑の五原則等である。

在学二年間、校長先生の講義、実技指導を受けたことはなく、儀式にはそれなりのお話をお聞きしたが私は普段の授業時にお顔を見せて頂きたいとかねがね思っていた。

昭和三十九年三月、卒業式後の謝恩会の折、私は恐る恐る先生の前に進み、在学中の御礼を申し上げ、更に一言「先生のお忙しいことは分かりますが、皆、先生のお話、実技指導等をお待ちしていました」と、先生「君は誰かね」と、隣に居られた故井沢先生「石垣先生です」と先生曰く「君、先生かね?」「ウー

二、話はこれが始まり：勤

故井沢先生を通じ、私に「学校に残れ」とのこと、当時、私は都立高校の教員、而も教頭になる年、お断りするも夜間部だけと、やむなく非常勤講師をお引き受けして九年間。

昭和四十八年三月、都立学校校長定年退職に当たりN大学よりの誘いに、「副校長の職に」との再三の要請に兜を脱ぐ。

以来、平成七年三月まで二十二年間：副校長、通算三十年余、先生のお側に：担当科目：衛生学、関係法規等、副校長の仕事外に教科指導にも尽す。尚、当時、副校長故浪越徹(ご長男)先生にも大変お世話になり、私「先生あれどうしましよう」、先生「それでいいよ」私「ではそうします」の仲、三、副校長の構想と大先生

の度量
学校経営的なことに乗り出した私(運営委員会に了承されたもの)に何一つもの申されたこと無く了解、万事解決、ことは進む。

度量の大を痛感。(個人

の話し合い無)

四、学校運営の方針の確立
年間計画(学校全体)、
運営委員会(月別)、教
科・各種行事、資格試験対
策、教授会のあり方、学籍
補助簿等の書類の整備。

入学資格を高卒：一時躊躇、後了承。
専修学校認可。発足と
制度改正対策。

学校法人認可(六十二年)：就任当時から大先生に申しあげた大切な事項。
法律改正(平成二年)と新法施行。

その他、臨床研究科設置、臨床実習(飯能病院、同老人ホーム)体育祭、見学等。

国際関係(指圧親善国際大会開催)

ハワイ、台湾、カナダ、中国等に同行。

五、レクリエーション
大先生は賑やかことがお好きなようでお一人で行動されることは殆どなく、全ての会合に出席され楽しい時を過ごされた。

旅行(各学年、職員旅行等)に参加。
私の第二故郷台湾へ、全島一周、於台南指圧大会を開催、昔の教え子の大歓迎を。

職員関係：暑氣払い、

忘年会他。

夕刻、灯りが点る頃お出かけにお供する。

青山の「あさの」、新宿は「ボルボレッタ」、巣鴨の「麗華」、神楽坂は「琴の富士」と、ある時は一席の浪曲、歌謡曲をマイクを通して、なかなかのものであった。

スポーツでは、佐渡が嶽部屋と野球試合：監督「大先生、ヒットで出た私、二塁守備の佐渡が嶽親方にはね飛ばされる。

先生はなかなかのスタイリストでネクタイをなさらない時はなく、何時もきりっとした服装、最後は「指圧の心、母心、押せば命の泉わくワッハアハア」で閉じる。

先生が初恋の方と再婚された時のこと、その奥様がご病気の折又お亡くなり時のことは脳裏に刻まれております。
最後に私は多くの校長先生に仕えたが、大先生(知恵者、能弁者、健筆、度量大)にお仕え、教師に暮、有り難き幸、多謝。



徳治郎先生との楽しみひと時(右・石垣先生)

故浪越徳治郎先生との思い出

学校事務局勤務 佐藤 八郎

私と浪越徳治郎先生との出会いは、昭和32年、徳治郎先生の恩師石丸梧平先生に、不思議な縁で書生として勤めるようになってからである。
私は、昭和44年に石丸先生が亡くなるまでの12年間、書生として起居を共にした。その12年の間、石丸先生との理由をお聞きした。

徳治郎先生は、「石丸先生は私の命の恩人です。札



21年間徳治郎先生と一緒に仕事ができ幸せでした

幌時代、私の親指に10万円
の傷害保険をかけて下さった。それが朝日新聞に7段
抜きで、「この指十万円也」
のタイトルで掲載された。
それが私のマスコミ第1号
です。また、上京してから
は、吉川英治、菊池寛、村
松梢風その他多くの方々を
ご紹介頂いた。私の今日あ
るのは石丸先生のお蔭です。
そのご恩を忘れないように、
先生の誕生日と元旦は必ず
ご挨拶に伺った。

人は、急に雨に降られた
時、傘を借りて、「あゝあ
りがたい」と感謝をする。
しかし、翌日晴れると傘を

返えすのを忘れる人が多い。
私は、そういう人間になり
たくなかった。」と言われ
た。
石丸先生は、徳治郎先生
が来られるのをいつも楽し
みにして、来られるとよく
お酒を酌み交わした。徳治
郎先生は時々お酒を1本ぶ
ら下げて来られたが、徳治
郎先生の飲みっぷりの良さ
に、石丸先生は「浪越君は
1本ぶら下げて来て、2本
飲んで行く」と言って大笑
いされた。
徳治郎先生のタフな行動
力には、我々若者も付いて
いくのがやっとであった。

平成元年5月7日、神奈
川県支部の野外研修会に参
加するため午前10時鎌倉駅
に集合。「指の光」5月号
の表紙用写真を大仏の前で
撮る目的であったが、生憎
の雨で写真は撮れず、昼食
会場のフランス料理店「小
町園」での研修会風景を表
紙に飾った。フランス料理
に舌鼓を打ち、お酒も程々
に戴き、それから32期生の
修学旅行の宿泊先、下田の
「大和館」へと向かった。

6時からの宴会は徳治郎先
生が参加されたと学生たち
は大変な喜びで大いに盛り
上がった。学生から注がれ
た酒を、浴びる程飲んで徳
治郎先生は「ご機嫌であつた。

翌朝、朝一番で帰京するた
め5時半にタクシーを予約
して休まれた。
翌朝は、5時にお風呂に
入り、5時半タクシーに
乗ったところ、あまりの天
気の良さに、「このまま伊豆
海岸をとばして伊東まで
行ってくれ」と頼む。あの
日の伊豆海岸の朝の景色は
素晴らしかった。伊東駅か
ら電車で、指圧学校へ着い
たのは9時少し前であつた。
学校の廊下で、昨日神奈川
県支部の研修会に参加した
学生とバツタリ会い、学生
は「下田から帰って来られ
たのですか」とビックリさ
れた。

徳治郎先生は、午前中事

浪越徳治郎先生の御教訓と

お約束事

因 泥 文 彦

昭和46年4月
宣誓 この度名誉と伝統に
輝く日本指圧専門学校に入
学を許されました私達は学
術の習得と技術の修得に専
念することをここに誓いま
す。
第15期入学生代表因泥文彦
同年9月
宣誓 私達名誉と伝統に輝
く日本指圧専門学校生徒一

この年から運動会が毎年
開催されるようになった。
設立委員長及び運営委員長
として尽力した私に浪越先
生から「あなたは何万人の
一人と言われる人物になり

務所で仕事をし、午後休憩
されて、夕方になるとまた
お出かけになる。これが徳
治郎先生にとっては通常の
行動であつた。
私が指圧学校の事務局へ
お世話になったのは、昭和
54年5月からであるが、4
月下旬徳治郎先生をお訪ね
した時「丁度よいところへ
来てくれた。6月に第一回
指圧国際大会を京王プラザ
で開催する準備で忙しい。
君も手伝ってくれ」と言わ
れ、それ以来21年間お世話
になった。「嘉納治五郎が
柔道を世界に広め、今やオ
リンピック種目にまでなつ
た。次に日本の文化として
広めるのは指圧だ！」と熱

く語り、指圧の普及に情熱
を傾けられた。そして毎年
のように世界各地で指圧国
際大会を開催した。世界と
こへ行って指圧は大変な
人気であつた。今や日本で
発祥した指圧は、全世界に
広まり、「シアツ」は世界
共通語となつた。
「指圧を天下に広めよう」
の志を抱いて北海道から
上京した浪越徳治郎青年が
その目的を見事に達成して、
平成12年9月25日93年の生
涯を閉じられた。
私は、この偉大なる浪越
徳治郎先生と21年間一緒に
お仕事が出来たことを幸せ
に思う。
ら浪越指圧の三代にわたつ
てお役に立てられたなら本
望です」と申し上げ、「ど
うぞ今後とも、どうぞよろ
しくお願い申し上げます。」
と握手をした。やっぱり徳
治郎先生の親指はでっかい
手掌、手指はふんわり柔ら
かく、この手のどこに世界
一のすばらしさがあるのだ
ろうか…と思つた。
徳治郎先生から更に激励
をいただいた。「10年は
しっかり先生や先輩の方々
から教えて頂きなさい。10
年から20年の間は自分の独

自の方法で勉強しなさい。20年から30年は先生、先輩の方々から教えていただいた分と自分が勉強した分を後輩の方々に教えて下さい。30年過ぎたら大勢の方々に健康のお話をされ、快眠、快食、快便、快働、快笑の健康五原則を説いて下さい。人が成功するには本人の実力が基本ですが、富者、智者、医者、三者が、おんぶにだっこ、肩車が絶対必要であり、この成功の道を邁進するには神仏のご加護も必要です。浪越学校にはお宝があります。(元副校長)

井沢正先生、(元副校長) 石垣惟一先生、(現校長) Dr.石塚寛先生はじめ各先生方です。昭和48年卒業

第一回ヨーロッパ指圧親善旅行を挙行了した。その团长は徹先生、私は副团长、21名の団員の壮行会で、「しっかりヨーロッパに指圧の種を蒔いてきて下さい。」と徳治郎先生から御挨拶を頂いた。

当時の団員がヨーロッパに最初の指圧の種を蒔いたのである。大成功であった。2年後、カナダ、バンクーバーより指圧の招聘があり、徹先生の助手で出向。帰国の際、徹先生から特別プレゼントを頂いた。「因泥さ

ん、心からのお力添えありがとう。無事バンクーバーの指圧講演も無事成功したのでハワイによって帰国しましょう。(中略)私、因泥は指圧の御縁を頂きアメリカ合衆国ハワイに永住するにあたり、5Fの講堂で壮行会を開催して下さい。壮行会の席場で、

一、人生は借り方でなく貸方で生きなさい。
一、人生大学に終わりがなく卒業生なし。
一、偽物があつて本物の価値が分かる。名刀正宗も同じだ。
一、強い人とは耐える事のできる人だ。
一、難関辛苦汝を玉にす。
一、世界中に沢山の技があります。修得されたら帰ってきて、ぜひ皆さんに手ほどきして下さい。

私、「ハイ」と答えた。私の様な若輩者にも世界一と言われる徳治郎先生がはなむけに心温まるお言葉をプレゼントして下さい。嬉しくてたまらず、つい涙をこらえるのを禁じえなかつた。

「浪越先生、本日御参席の大先生、先輩の方々の心温まる壮行会を頂きました事は一生忘れれる事なく浪

越指圧の礎になる事を私はお約束し、ハワイに渡りました。どうもありがとうございます。渡米一年後、ハワイで生活できそうである旨、御報告が上がった。報告の中で、「どうぞ今後ともよろしく御指導下さいませようお願いします。私は、絶

20周年、25周年と5年に一度の祝賀会を開催している。これは他の手技療法に勝るとも負けない、指圧道の真髓から外れないため、自分への戒めであり、指圧を陰から御支援下さっている皆様方への御礼の意でもあります。毎回500人以上御招待を継続している。徳治



地元ハワイの新聞で紹介(左・因泥文彦先生)

対、指圧国際大会は必要の旨「徹先生を通じ、徳治郎先生にお話を申し出た。快くお受け下さった。徳治郎先生と徹先生は、さつきく開催の準備を整え、第一回指圧国際大会が開催された。ハワイから21名参加できた。私がハワイに永住できたのは浪越徳治郎先生、徹先生、指圧のお陰である。愛泉指圧学校10周年、15周年

郎先生が「よくがんばりましたね!! 為せば成るか? アツハツハツハ。もう、そろそろ弟子が成長したので学校へ帰って来てはいかが?」のお言葉も頂いた。「浪越先生、自分は朝方に道を聞かば夕方に死ぬともかなりの心境の毎日でございます。私、因泥がお約束を果たす事ができる日が来るまで浪越徳治郎先生は百

歳まで絶対死なない!!」と思っていた。だが、帰らぬ人になってしまった。誠に残念である。私の自宅には仏壇があり、徹先生、徳治郎先生の為、毎朝お線香を上げ経文をお唱えしている。ハワイ大学には医学部があり、医学は万人の為にある旨の申し出に特別に承諾して下さい。ハワイ大学医学部は、2002年から解剖学の学習会、研修会を開始し、「校長Dr.石塚寛先生の御教えすばらしく、日本指圧専門学校に学生はレベルが高く、解剖学の勉強をすることは大変すばらしい」とハワイ大学のロザノフ・スコット主任解剖教授の喜びの言葉である。継続は力なり。浪越徳治郎先生!! 私も約束事を守っています!!

同窓生の皆様、指圧師のプライドをもって最後まで生きましよう。徳治郎先生曰く、「人生大学を謳歌しよう。人生大学に卒業生なし。」と。1976年9月米国永住権取得。77年3月愛泉治療道院設立。77年9月愛泉指圧学校設立。ハワイ州教育局認可。78年米国指圧

愛泉治療道院、愛泉指圧学校
1314South King Street#601, #602
Honolulu, Hawaii 96814
Phone (808) 596 7354
Fax (808) 593 8282
Email aisen@bigplanet.com
Home page www.aisenshiatu.com

浪越徳治郎先生!! 先生はあまりにも莫大な指圧という遺産を私共にプレゼントして下さいました。指圧という手技療法は指圧師のみでなく、地球規模で世界各国が協力体制をとり受け継いでいくべきであると思えます。今後後進の指導に全力を尽くします。どうぞ天国から全世界の指圧師の皆さんに特別強力パワーをお与え下さい。

協会設立。ホノルルマラソン大会第六回、指圧師総動員指圧無料奉仕を開始、現在に至る。26年間継続中。ハワイ州で指圧治療が、保健取り扱いができるようになった。医学界で指圧治療が認められ、活躍のできるその日が近づいている。

10年20年30年
年輪重ねしその一輪
輪が重なりて和に至り。

浪越徳治郎先生との思い出

小林 秋 朝



私と徳治郎先生との初めての出会いは、体調を崩していた家内を連れて学校の治療部に伺った時でした。当時の治療部は、一階に受付、大風呂、サウナ、休憩室があり、二階の全フロアが治療室という大変立派な設備でした。

毎週、お茶の間のテレビでお馴染みの江戸時代の華岡清洲風の治療衣・袴姿で登場された。あまりにも御高名な徳治郎先生を前にして、私は、すっかり恐縮してしまい、挨拶もままならない有様で、問診に返答するのが精一杯でした。施術中は、お邪魔にならないようにと、傍らに座して、初めて間近で見る徳治郎先生の一挙手一投足を一心に見入っていました。徳治郎先生は治療を終えると、「ご安心なさい。少しの間

続けたら必ず良くなります。お子様にも恵まれますよ、大丈夫ですよ！」と、慈愛に満ちた柔和な笑顔で、温かなお言葉をかけてくださいました。その後、治療に通ううちに、家内の体調も回復し、待望の子宝にも恵まれ、指圧の偉大な術と力に圧倒されました。家族にも見よう見真似で指圧を試してみようと思いのほか大好評で、本格的に指圧を学びたいところさし、日本指圧専門学校(旧日本指圧学校)の第17期生夜間部に入学したのは昭和48年(1973年)33歳の時でした。卒業と同時に徳治郎先生

のご好意により講師として学校に残ることになり、幸いにも多くの時間を先生と一緒に過ごすことができました。ここでは、多くの思い出の中からいくつかのエピソードをご紹介します。と思います。

学校の講師となつてまだ日も浅い頃、当時先生の居室にもなつていた5階の道場の脇の一室で、ビールとブランドーの水割りを楽しむなまれる先生とお話する機会がありました。指圧の奥深さと難解さに思い悩む日々を送っていた私は、恐れ多くも大胆に、「いったいどうしたら指圧を会得することができるのでしょうか？」と、尋ねていました。

すると、突然お酒の手を休め、真剣な面持ちに豹変し、「幼少の頃から身を持って指圧を体験し、若い時代一時期悩むことがあつて、あん摩はもとより、鍼も、灸も、整体も、さらには御茶ノ水のニコライ堂の近くの自彊術(じきょうじゆつ)の道場にも通つて研究を重ねた結果、指圧に勝る、手技はなし」との結論に至つたのだよ。」と、一つ一つ噛み締めながら、苦悩の時代を語られました。また、「学生たちが卒業するとカイロや、整体などに走る者もいるが、それは遠回りしているのだよ。この私が時間をかけて経験したのだから、わざわざ遠回りする必要はないのだよ。私を信じて指圧の基本を忠実に実行することが一番の近道なのだよ。これからも、その信念で学生をよく指導してください」と熱くお話しになりました。

私は、この徳治郎先生のお言葉をいつも大切にしながら、先生が具現化した指圧の真髄を継承していく一端を担えたら幸いであると思つています。

昭和51年11月に、フランスの医療グループと美容関係のグループに指圧セミナーの講師として徳治郎先生が招聘された時、徹先生と藤井先生と私が一緒にお供することになりました。飛行機の経由地であるドバイ空港で、皆の記念写真を撮ろうとカメラ担当になつた私は、撮影中に突然、空港警察員に両腕を抱えられ連行されるという事件が発生しました。我々は空港が撮影禁止区域となつていたらと露知らず、すっかり觀光者気分でした。徳治郎先生は大変ご心配されながら、解放後の私に、「大丈夫か？」と短い言葉ながら、多くの意味を含んだお言葉をかけて下さいました。私は先生の思いやりの深さ、お心の広さを身震いがするほど感じました。



パリの凱旋門を背景に
右から浪越徹先生、徳治郎先生、小林秋朝先生



昭和51年11月、フランス指圧セミナーの様様

昭和51年11月に、フランスの医療グループと美容関

全生涯を指圧にかけた人生

神技の実技指導に感動―

オーストラリア・メルボルンにて

浦川 杏子



第11回指圧国際大会にて(左から3人目、浦川杏子先生)

一九九三年十一月十三日
 オーストラリア・メルボルンにて第11回指圧国際大会が開催されました。徳治郎先生をはじめ日本から日本指圧協会の先生方約50名の皆様に参加されました。海外での催物の時は、ホテルからホテルへと移動と観光との忙しい日程ですが、是非うちに来て戴いて、皆様にお会いしたいと思っております。当日徹先生が座布団を両手でかかえて玄關に立つておられました。「あ、どうぞ、中へ入って下さい」と言いつつ、

「ところでその座布団は何ですか?とおたずねしますと、
 「今日は、俺はオヤジの座布団運びだよ」とのことでした。
 「どうしたのですか?」
 「うん、オーストラリアへ来る2、3日前転んで腰を

打って痛くてたまらないんだよ」

皆が心配して仙骨にヒビでも入ったら大変だから医者へ行くようにと言っても、ガンとして言うことをきかないそうです。もしヒビが入っていたら、「オーストラリアへ行くな」というドクター・ストップがかかるからと言うことでした。

そんなままでしてオーストラリア・メルボルンへ来て戴きました。そして又「貴女達がオーストラリアにいるのでいつかはオーストラリアで国際大会をしてくちやと思っていた」とも言われました。あのお忙しい中であつても、ちゃんと生徒のことを忘れずに心に掛けて下さっていたとは本当にありがたいことでした。

第11回指圧国際大会は、日本側徳治郎先生をはじめ徹先生、日本指圧協会の先生方約50名、オーストラリア側はニュージージーランドからはせまじした方もいて、オーストラリア、ニュージージーランドの指圧関係者約250名が一堂に会して盛大にメルボルンにて開催されました。徳治郎先生は腰が痛いにもかかわらず全ての行事に参加されました。指圧のデモンストレーション

の時は、自分からワイシャツの袖をたくし上げて

横臥の指圧をなされました。モデルになっていている人の体はびくりとも動かず指だけがスイ〜と体にすいついたように動きます。さすが名人芸、いつの日か私共もこうなりたいものです。

オーストラリアだけでなく外国はどこでも「指圧」を大変間違つた解釈をして、指圧とは似ても似つかないものを「指圧」と称しておりますが、そんな中であつて世界で唯一の指圧専門学校の理事長、指圧の創始者、指圧名人位である浪越徳治郎先生をお迎えしてのメルボルンでの「指圧国際大会」の開催は、私共にとつて一生忘れることのできない思い出です。

その後、又メルボルンで第2回オーストラリア指圧大会が開催された時にも来て戴きました。その時も指圧のデモンストレーションを自分からすると車椅子をけつてスクツと立ち上がり、れた姿をみて指圧にかける情熱のすごさをまのあたりにいたしました。全生涯を指圧の普及と人々への健康保持のためにかけられた先生のすこさ、素晴らしさを、今、しみじみと思い出し

す。

今、いろんな健康法が次から次へと出ておりますが、指圧に勝るものはありません。全身くまなく指圧点があり、どこにも欠けているところはありませぬ。これを体系化された徳治郎先生の偉大さは、人間の体の仕組みを勉強すればするほど、一人ひとりの患者さんの体をさわればさわるほど、一人一人の体のちがいが、主訴のちがいが、毎日患者さんとの戦いをすればするほどよくわかります。

「指圧教室」の生徒さんが言います。「指圧療法はすごいものだ。薬も使わずメスも使わず、ただ指一本で治す」。徳治郎先生が体系化され、考案された「指圧」をオーストラリアに残したいと「指圧教室」を始めました。とても厳しく、徹底的に「浪越指圧」を教えてください。いつの日か誰か一人でも「指圧」の偉大さがわかり、指圧を理解する生徒が出てくることを祈つて今日も「指圧教室」で教えております。

先生、長い間御苦労様でした。そしてお忙しい日々でした。今こそゆっくりとお休みくださいませ。先生が愛してやまない「指圧」の普及の一端を、ここオーストラリアで私共が少しでもお手伝い致します。先生の万分の一にも及びませんが努力いたします。先生、「指圧」をこの世に出して戴き、教えて下さつて、本当にありがとうございます。

新潟県中越地震救援募金を 同窓会から被災地へ

平成十六年十月二十三日の未明に発生した新潟県中越地震の被災者の皆さんに衷心よりお見舞い申し上げます。同窓会運営委員会の了承に基づき、当会から読売新聞社・読売光と愛の事業団を通じて救援募金二十万円を贈りましたことをご報告いたします。十一月十二日付の読売新聞にその旨が掲載されました。

浪越徳治郎先生の教え

鈴木 林 三



昭和39年(1964年)東京オリンピックの開催された年の4月に日本指圧学校へ寮生として入学した。思い出すままに綴ってみよう。

前年まで平屋建の校舎が、この年から二階建となり、新校舎と呼ばれていた。何もわからないまま、いきなり野球のユニホームを渡され、これに着替えなさい。どうなることかと思ってい

方までは学校にいらっしやって、時間があれば我々寮生に指圧の伝授をされていた。くる日もくる日も先生のお体をお借りして指圧の勉強。頭部・顔面から教わり、日がたつにつれむずかしい前頸部や腹部を毎日のように教わる。

前頸部はまるでわからない。先生の手で導いていたので初めてさせる。何度挑戦しても前頸部が任せられない。前頸部がどこかわからない。先生にスツと手で導いていただくと手こたえがある。腹部も全く同じ。そんな毎日のおかげで、今日では教える立場になっている。

夕方になるとほとんど毎日のお出掛けになる。そして時々、帰られてから寮生に招集がかかる。治療室に机が並べられて、先生のお話がある。

今日はどこでこういう話をしてきた、とお話の再現がある。それが終わるとお酒とおつまみが並ぶという訳で、指圧だけでなくお酒の勉強もさせていたのだ。一滴も飲めなかったの

が、今では酒なしの人生なんて考えられない程勉強の成果があった。

基本指圧を作るにあたって、神と崇められていた時代の天皇陛下の御前でも恥ずかしくない、ご無礼のないようにとの配慮があったと、浪越先生が述べられていた。従って患者さんをまたぐなどんでもないことで、足元の方から反対側へ移動することあたりまえである。

足に血液の流れが悪くなるのを不足という。すると、頭の方への血流が多くなり、不平不満が出てくる。足に血液が行き渡るのを満足という。心がおだやかになり笑顔が出てくる。四肢の指圧の大切さも教わる。

指圧百ペン、コツ自ら会得する。

コツ(術)とは、中心(基本)を求めてこつこつと行すること。急いではいけない。真面目にコツコツと努力しなさい、と教わる。指圧を海外向けに、初めのうちはfinger pressureと訳していた。(和製英語)

1964年、東京オリンピックで柔道が正式種目になった時、ほぼJapanese wrestlingで決まっていた。それに対し、三船先生が柔

道で通せの一言で柔道と決まる。

これに意を強くした浪越先生。指圧も柔道も日本で生まれ海外に羽ばたく、何よりも講道館も指圧学校も同じ文京区にある。ならば指圧も指圧で通そうと、それ以来Shansuで通している。ちなみにfingerとは母指以外の四指をさすという。ということの意味がよく通じていなかったということが

坐位指圧はこうして生まれた。門閥英雄先生、井沢正先生が現役の頃の学校付属治療部でのこと。患者さんが混んでいて、腹部まで治療してきてハイヨロシイで終えると、そのまま寝てしまふ人が多い。待っている患者さんも先生もいるのに、フトンがあかない。

そこで一計を案じて、腹部まで終わった人におすわり下さいと起し、簡単な坐位指圧をして、大きく背伸びをさせて目を覚まさせてから、治療を終えた患者さんにハイヨロシイと言い、待っている患者さんにお待たせしましたと声をかける。これで思うように回転するようになった。この坐位指圧に少し肉づけをして、今の坐位指圧が出来上がった。浪越先生の若い頃の話。



徳治郎先生の笑い声が聞こえてくる...

九段で無料映写会の看板を見つけて入ると、そこには馬を買いにきた父親と息子が映し出されていた。あれこれ品定めをして一頭の馬を買い、父子二人が喜んで馬をひいての帰り道。道行く人が二人を見て笑いながら、バカな親子だ、馬は乗るものだ、それを二人してひいているとは...。これを聞いて二人は相談をして、それもそうだ、じゃあお前乗れ、と子供を乗せてしばらく行くと又人が笑う。なんて親不幸な子供だ、親にひかせて自分が乗っているなんて...。それを聞いた親子が、それもそうだ、

じゃあオレが乗ろう。しばらく行くと又人が、なんて因縁な親だ、あんなに小さい子供にひかせてふんぞり返って乗っているなんて...。親子は又考える。お前が乗ってもオレが乗っても笑われる、そうだ二人で乗ろう。父子が乗ってしばらく行くと、なんて親子だ、馬に二人も乗って動物虐待もはなはだしい。親子は又考える。そうだが、この馬がいるから笑われるんだ、と二人して橋の上から馬を投げおとす。

最後に字幕が出て、信念なき者全てを失うとよく話されたものだ。

第0回実技講習会

8月1日(日)日本指圧専門学校の五階実技室を使用して、第0回実技講習会を実施しました。

今回の実技講習会は同窓会の新規事業として企画されましたが、運営委員会での了承を得る機会がないままの見切り発車となつたため、第0回として参加者の反応、運営上の問題等を確認する試験的な実施となりました。事前に運営委員を通じて開催のご連絡をし、各運営委員から同期の同窓会員に連絡。参加者は電話・FAXにより参加申し込みをするという参加方式をとりました。参加費を無料とし、午前、午後の部の二回に分けて開催されました。



午前の部参加者とともに

講習を受講してまず「自分の指圧は、卒業して五年の間に基本からかけ離れてしまった」と実感しました。講習中は、今の私のできる最良の「指圧」を行おうとしましたが、「基本」が全くできておらず、何度も姿勢・手指の位置・体重の移動などを修正して頂きました。「基本に返れ」とは良く聞く言葉で、私自身、事あることに「基本」に戻り練習していたつもりでしたが、その私の言う「基本」こそがすでに我流であり、未熟な私が本当の意味で「基本」に戻るには、鈴木林三先生のように「浪越指圧」を忠実に極めた先生に教えていただくほかに方法が無いと感じました。

私は、都内に「指圧専門店」を立ち上げ2年になりましたが、これから先「小手先の技巧」に走らず「基本指圧」を目標にしていこうと考えました。貴重な講習会ありがとうございました。

実技講習会を受講して

齋藤浩史 40期

講習を受講してまず「自分の指圧は、卒業して五年の間に基本からかけ離れてしまった」と実感しました。講習中は、今の私のできる最良の「指圧」を行おうとしましたが、「基本」が全くできておらず、何度も姿勢・手指の位置・体重の移動などを修正して頂きました。「基本に返れ」とは良く聞く言葉で、私自身、事あることに「基本」に戻り練習していたつもりでしたが、その私の言う「基本」こそがすでに我流であり、未熟な私が本当の意味で「基本」に戻るには、鈴木林三先生のように「浪越指圧」を忠実に極めた先生に教えていただくほかに方法が無いと感じました。

日本指圧専門学校同窓会

平成十六年度通常総会

日本指圧専門学校同窓会の平成16年度通常総会が平成16年6月13日(日)、茗荷谷の茗溪会館にて開催された。出席者は在校生を含む140余名。定刻10時、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開会された。開会の辞、君が代斉唱の後、青木会長挨拶に次いで浪越和民名誉顧問から御祝辞をいただきました。続いて、議長団の選出議事に入った。

談笑し合うなど親交を深め、和やかなひと時を過ごした。通常総会の総会決議により承認を受けた同窓会会則(第6章会費)の変更は、以下の通りです。(変更前)第15条会員は入会時に入会金15,000円を納める。このほかに正会員は運営費(年会費)2,000円を納めるものとする。(変更後)第15条会員は入会時に入会金15,000円を納める。このほかに正会員は運営費として年間2,000円を納めるものとする。また会則第8章顧問相談役の規定に基づき、浪越満都子先生が名誉校長から名誉顧問に、石塚寛先生が名誉校長に委嘱されました。



通常総会であいさつする青木宏同窓会会長

記念講演抄録

「自立できる指圧師」

川原善次郎先生



講演する川原善次郎先生

(司会) 同窓会の副会長であり、日本画の新興美術展の会員としても活躍の川原善次郎先生をご紹介いたします。本年三月「天竜寺蓮池」というテーマの絵が、ギリシャ・アテネのオリンピックへ出品され、アポロン賞を受賞して凱旋されました。多才な川原先生より「自立できる指圧師」というテーマでご講演をいただきます。川原先生、よろしくお願いします。

学校で指圧を習ったのに資格を取ったら指圧のことを忘れてしまい、昔何かやってたことに戻ってしまふ人が多く、この指圧の道から外れてしまった人が多いんじゃないかと思うんです。学校へ資格を取るために入学した生徒が、指圧の良さを知らないで卒業してしまふ。何をやっても駄目なんで、昔習った指圧を

もう一回思い出してやってみようかという時には、もう時間が経って基礎を忘れてる。私も若い頃にスポーツで怪我をし入院した病院のマッサージの先生が赤門を卒業した先生で、その先生にマッサージを習いました。私はそのマッサージが一番だと思っていました。その後、指圧学校に入って指圧を習って、マッサージよりも指圧の方がよっぽど楽しいと思っただけです。動かさないと圧すだけ。私の技術が少し変わってきた頃、お客さんに指圧はいいですねと言われるようになった。先に習ったマッサージは痛いマッサージでしたから、お客さんは指圧の方が気持ちいいはず。痛くしなればお客さんに喜んでもらえないと思ひ、強く押し、自分の腕も痛め、患者さんにも嫌がられる。そんな指圧師ではお客は離れてしま

一度来院したお客を離さないようするにはどうするか。私は宣伝にも金を使ってみました。宣伝チラシは本当に金を投げるようなものです。誰も見てくれないことが多いです。何かいい治療がないかと思って探している人も勿論います。しかしその人の目に止まらな

ければ何もならない。私は開業時から続けている広告があります。地元のローカル新聞です。それを見て来たという人は一人もいない。今ではまだ仕事をしていますよと言った挨拶代わりです。

患者さんを大事にするには、来院した時に必ず身体の状態をカルテに記録することです。一カ月以上再来院しないお客に葉書を出すのです。百人出して五千元です。一人治療すればもとが取れます。その時にカルテの記録を見て気になったところを記入しておくのです。お客さんは自分の悪いところをここまで見てくれたのかと信頼されるのです。必ず、再来院してくれます。その後は口コミです。

料金の面も地域にあった料金にしてみよう。最近はいくつかのマッサージで十分間で千円、千五百円なども出てますよね。こんなのに指圧師が負けてたんじゃない。指圧学校も続きますよ。指圧学校は我々の母校です。私達の責任で指圧学校を残せるんです。卒業生の責任です。卒業生がろくな仕事してないと指圧学校だって指圧協会だって落ちますよ。やはり自分が自信を持った指圧をやること。

免許を取って、開業してからこそ勉強が大事なんです。学校を卒業するまでの勉強と違ふんですよ。卒業してからの勉強はお客さんは必ずわかってくれるんです。指圧師は指圧を自分が受けて勉強することが自分の指圧技術を上げれることです。技術の高い指圧をするとお客さんはよくわかります。いい指圧をしないと他の治療が病院へ行ってしまう。

医師に検査してもらってから指圧に来てもらうのが一番いいですね。膝が痛いと言ってきたら病院、内科でも整形外科でも勧めてみましょう。病院へ行くのが嫌いという人は別ですが、私の経験の一例ですが、膝が悪くて立ち上がれずコタツですつと寝ていた婦人の鼠径部を指圧したことで、膝の痛みがどんどん改善し良くなり、一年後には祭りで踊っているのを私は見てびっくりしました。

在校生の方で将来の就職を心配されている人も多い。自分の近くに指圧に理解のある医者がいれば、実習を依頼してみることも大事です。私も指圧学校へ入ることに理解をもってくれた医者がいて、学校が休みの時は全部この病院で実習しました。一日も休まず実習さ

せてもらいました。私が若い頃、腰が痛い時に注射を打ってもらっていた病院です。その先生に、今度指圧学校に行くので学校が休みの時に病院で実習させてくださいとお願ひしたら、どうぞ好きなようにやりなさいと言われ、私は実習のもりでしたが、給料までくれたんです。看護師たちも興味をもちました。私の指圧治療の方に患者が多いからです。病院ですよ。

リユーマチの患者さんがほとんど治ったんです。そうしたら先生も見に来るんです。何も変わったことしてないけどな、魔法でも使っているのかなと見ているんです。本当に指圧だけです。それで腫れて動かなかった指が、歩けなかつた膝、足首が歩けるようになるんですよ。病院での実習はいいですよ、毎日来れますから。健康保険でかかれるからね。やはり健康保険が使える治療は魅力です。指圧協会でも保険適用を進める予定ですが、我々の指圧が健康保険など保健医療に活かせるところへ使えればと思うんです。しかし現状では保険診療に指圧は認められていません。幸いにも私たちはあんま・マッサージ・指圧の免許を持っていますので、実際は指圧の技術を

使ってもマッサージで保険がききます。マッサージは整形外科の中ではどうしても必要な分野のため認められていんです。だが指圧は認められてない。それでも明らかに指圧にかかった患者さんはマッサージで撫でられた人よりも治りが格段と違うんです。みるみる楽になって、早くよくなつてくる。あとは回数を減らせばいいです。回数を減らせば保険料もどんどん減るわけです。大きな事を言えば、この指圧治療で保険料を減そうと言うことです。指圧の普及で将来、全体の医療費も今よりも減らせるかなと思っています。在校生の皆さんもこれから指圧をやるときには、そういうところへ参画できるような治療院を目指してもらえればと思っています。

私自身、この保険診療を行っています。毎月二百一、三十人の患者さんを治療します。まあまあ収入になりますよね。保険診療は医師の診断書か同意書に基づいた部位に保険が使えますが、患者さんの要望に応じて適用以外の治療も行うことが出来ます。もちろん、適用外であることを明確に患者さんに伝えて、痛いところを治療してあげればいいんです。こうして、どん

どん患者さんが増えてくるわけです。皆さんも治療院の運営の一つの形として、保険診療ができる方法を模索されてはどうでしょうか。その準備として近くの病院で実習させてもらうといいですね。

私も治療する時にはポランティア精神で治療します。お金はもらいますけれども、気持ちにはボランティア精神で、痛みをわかってあげられる治療師でなければならぬと思っています。今、一番苦労しているのは、精神的に病んでいる患者さんですね。家に籠もって何十年という三十三歳の青年。この人が何かいい治療がないかといろいろ探して、私に来てくれということで行ってみました。最初、触ろうとしたら触らないでほしいと言っています。指圧師、触らなきゃ商売にならないよと言って、すつと手をあてたら、受け入れてくれたですね。その後は指圧で自分の体は治ると思つたようです。その時も本当に簡単な手当てで、どこも指で指圧しないで簡単な手当、頭、肩、背中に掌圧。これを各所に五分から十分ほどやっただけで、もやもやつかえていたものが、サアツと消えたいらしいです。その後は何かあるとすぐ電話が来

ます。電話をかけるだけで楽になるようです。嫌がないで話を聞いてあげるんです。このような人にも指圧が非常にあつたようです。自立できる指圧ということとは、やっぱり自分でいる方法を考えなければだめですよ。やはり、先輩の研究したことの勉強とか自分で解剖学的、生理学的なことも、どんどん勉強しながら指圧に取り入れていく。ただ触ればいい、圧せばいいでは、温泉のマッサージと一緒になつちやいます。

私は現在、富士市の鍼灸・マッサージ師会の会長もしています。ここは目の見えない方々も一緒に加入している団体なので、正眼者はすべてポランティアです。何か一つするにも目の見えない人のためのポランティアです。車の運転免許をもっている、どこへ行くにも車を出して、ポランティアです。一緒に食事会の時もここに何かがあるよと教えながら、手を取り、足を取りのポランティアです。そうしながら、彼らと仲良く業をやらなくて、自分とは違うんだと別の道を歩いていると、同業者からはじき出されてしまいます。皆さんも地方に戻ったら、その地域の同業者と仲良く

するというのが大切ですよ。私は人の気持ちまでも指圧してあげられる指圧師になりたいと思つています。これから若い人達も卒業後を目指して、指圧師として継続するためにどうしたらいいかということは今、学校で勉強している間に考えておいた方が将来のためになると思っています。同窓会の先輩の中には成功している人がたくさんいます。そういう方々にいる相談し、アドバイスをもらいながら、自分の道を開いてください。また相談された先輩の方々も、できるだけ親身になつてあげていただきたい。

新しく独立する皆さんが夢、希望を大きく持ち、治療室も看板も立派にして、最初にお金をどんとかけるのを見ると、それを返すのに大変だなと私は思つてしまします。最初は細々とやることです。地域によって保健所の審査も違うでしょうが、開設届を出す審査に来ます。注意されたところを改善して、写真に撮つて保健所へ持つていけば、あとは審査なしです。地域によって審査が厳しいところもあるでしょうが、その程度で開業できますので、早く開業することですね。今は免許のない人たちが

も大勢いい技術を持つている人がいます。ですから免許証では飯を食えないんですよ。ところが皆さん、学校を卒業して免許を取っちゃつと、これで一人前だと思つちゃつて、勉強しない、努力が足りないと思つてますね。免許を取つてから、それからが勉強なんです。学校で習つたことを何回でも紐解いてみて、解剖、生理などの勉強をよくやってみると、この患者さんはどこが悪くて、どこがどうなっているから、指圧はどうすればいいということが自ずと出てきます。それをただ触れば治ると勘違いしては駄目ですよ。その悪いところには原因がある、その原因を追究した指圧をやらなければ駄目だということなんです。やはり勉強はこれからということですね。

私も今、勉強中です。卒業生でも在校生でも、私の治療院で勉強してみたいという人がいましたら、どうぞ来てみてください。以前の私のところへ卒業生が何人が勉強に来まして、何だ基本指圧しかやってないじゃないかと言われた時は、私がかかりましたね。基本指圧ではつまらないと勘違いして勉強に来られたのは困るんです。患者の治療でいろいろな研究会

に行つたり研究をしても、わからなくなつたときは基本に戻るんです。基本をすればどんなでも治せます、治すといつたら語弊があるかもしれないね。楽になります。

人間は自然治癒力を持つています。自分で自分の体を治す力があるんです。指圧師はそれを手伝うだけです。治す力を出させてあげるのが指圧治療です。それでも治らないとすれば、それは押し方なんです。同じ押し方で効く効かないというのは押し方なんです。基本指圧に垂直圧というのがあります。垂直圧を研究してください。私は垂直圧が大切だと思つています。私の垂直圧は中心へ向かって圧することなんです。痛いところは悪いところですが、痛く圧して「悪い」と言つても、患者さんに嫌われます。痛い指圧はしないように確認してみよう。鍼治療はツボに打ちますよね。鍼の先生に聞きますと、一寸四方がツボだと言われます。まさに指圧のツボが全部あります。細い鍼を刺さなくても指圧で同じ治療ができると言つてますね。指圧にもツボと自信を持って、垂直圧にこだわってください。ご清聴ありがとうございました。

記念講演抄録

2004年 アテネオリンピック
陸上競技 女子砲丸投 日本代表選手

森 千夏選手の
トレーナーとして参加

日本指圧専門学校 教員

石黒 克樹

日本陸上競技連盟の支援
コーチ派遣の要請により女
子砲丸投日本代表、森千夏
(もり・ちなつ)選手の
パーソナルトレーナーとし
てアテネオリンピックに参
加してまいりました。大会
一週間前の平成16年8月10
日よりドイツのマインツ大
学で選手と共に約1週間調

整合宿を経て、15日にギリ
シャ・アテネに移動、18日
にギリシャのオリンピックア
テネに参加しました。

砲丸投げは古代オリン
ピックの聖地であるオリ
ンピア競技場にて崇高に行わ
れました。日本選手が砲丸
投げで出場するのは46年ぶ
りという快挙でオリンピッ
ク発祥の地で競技をする様
子は結果以上に感動的であ
りました。トレーナーとい
う立場からオリンピックに
参加して感じてきたことを
レポートしてみたいと思
います。

期日	平成16年8月10日～8月24日
大会開催日(女子砲丸投)	8月18日
滞在先	8月10日 出発 成田～ドイツ(フランクフルト)に移動
	～14日 ドイツ・マインツ大学にて合宿
8月14日	ドイツ・フランクフルト移動
8月15日	ドイツ(フランクフルト)～ギリシャ(アテネ)移動
	～16日 アテネ(選手村に入る)
8月17日	アテネ～オリンピックに移動
8月18日	女子砲丸投試合(古代オリンピック競技場にて)
8月19日	オリンピック～アテネ移動
8月20日～22日	アテネオリンピックスタジアムにて競技観戦
8月23日	アテネ～成田に移動(ドイツ・フランクフルト経由)
8月24日	帰国
試合結果	
8月18日	8時30分 試合
試技順12番目	1投目 15m86cm
	2投目 15m76cm
	3投目 ファール 予選落ち

森選手との出会い
私と森選手との出
会いは今から3年前
彼女が国士館大学の
学生のころになりま
す。それからコン
デイショニングの調
整法などをアドバイ
スするようになり、
昨年のパリ世界陸上
で個人トレーナーと
して同行し、200
4年の日本陸上選手
権(オリンピック代
表選考会)での専属
トレーナーとして関
わってきた経緯があ
ります。



調整合宿をドイツ・マインツ大学で



試合直後の森選手(左)と
オリンピック競技場

アテネオリンピックという
大会
オリンピックが他の大会
と異なる要素は、選手がう
ける精神的なプレッシャー
です。4年に一度の大会で
あり国を挙げて応援してく
れますからマスコミの対応
などプロ選手さながらの対
応が必要となります。初め
て出場する競技種目やその
選手はこの洗礼を受けます
精神の乱れは身体に表れま
すのでその調整も大事なト
レーナーの仕事となりまし
た。

当初、オリンピック選手
村にはイラク戦争の影響で
テロ対策のためセキュリティ
ティーチェックが厳しく入
れないと聞いていました。
しかし、日本陸上競技連盟
の計らいでビジタートレー
ナーとして入村の許可があ
りました。私がアテネに来
た目的の一つに選手村の様
子を見ることがありました。
なぜなら選手がどういった
宿泊施設に滞在しているの
か?食事施設は?トレーニ
ング施設は?といった選手
村の環境は競技パフォーマンスに直接影響する大変重
要な要素だからです。選手
村の評価はやはり食事がよ
くなかったようです。

森千夏選手のケア
森選手をケアするにあ
たって、手技療法・指圧療
法、運動療法、物理療法を
併用して練習の前後と必要
であれば休養日での治療を
行いました。選手のケア
で重要視したことは選手と
話をして、選手の些細な変
化を把握することでした。
たとえば、朝食時は、1日
のコンデイショニングを把
握するのに重要で睡眠状況
や目覚めの状況、食事の状
況と一緒に食事を取りなが
ら確認しました。
施術において注意してい
たことは練習前や試合にお
いてのパフォーマンスを上
げるためのインプットによ
る施術。練習後、試合後の
リラククス効果を上げるた
めのアウトプットによる施
術の使い分けでした。
オリンピック発祥の地オリ
ンピアで行われた砲丸投げ
砲丸投げが行われた会場
はギリシャから車で5時間
(350km)移動にかかり
ました。オリンピックは小
な田舎町で古代遺跡があり
そのど真ん中に競技場があ
りました。砲丸投げの選手
が遺跡のゲートをくぐり抜
けて出てきたときはとても
神秘的でした。森選手の結
果は振るわなかったわけ
ですが、いい経験ができた。

次の北京オリンピックに必ず生かします。」と力強いコメントを試合終了後すぐに出していました。彼女はまだ24歳なのでこれからが頼もしい選手です。帰りの機内にて・・・

帰りの飛行機で今大会大躍進した水泳チームと同乗することになりました。ご存知のとおり水泳チームはシドニーオリンピックから大躍進を遂げました。それで水泳日本代表コーチの先生にいろいろ話を聞くことができました。なぜこんなに結果がでたのかと・・・

大会前に水泳の日本代表選手25名は2ヶ月間もの間選手とコーチとトレーナーと共に海外遠征に参加しそこで相談して仕事を分業し、科学的要素を取り入れ、それぞれに分野で仕事をするために密にミーティングを行い盛り立てていると話がされました。私は、北島選手と偶然にもアテネからドイツまで隣の席になりました。身体的トレーナーの事に関して北島選手は、トレーナーに合宿から同行してもらい常に練習後体をチェックしてもらい必要時トレーナーを自分で選択して施術を受けたようです。またこれらと同様に他

の日本代表の水泳選手もトレーナーによって身体を管理されていたようです。北島選手が「専門的なスタッフとチームとして戦えたからこそ、欧米に身体的に劣る日本人が活躍できるのです」と胸を張って話されていることが印象的でした。今後のスポーツ活動において

アテネオリンピックはたくさんさんのボランティアで支えられていました。私もその一人として大会に参加できたことは本当に幸せでした。私がこの大会に参加できたのは日本指圧専門学校

の先生方をはじめ、大学の先生方、友人や家族にいたるまでたくさんの人に支えられたお陰だと深く感謝しております。幸いにして教員職をしておりますのでこの経験を学生の皆さんにお話しする機会も与えて頂い

ております。また、学校ではスポーツに興味を持つ学生の皆さんと週1回ではあります。スポーツトレーナーに関する勉強会を行っております。今後益々、スポーツ界において国家資格を有するスタッフの活躍する場所が増えることは間違いありません。オリンピックに参加するということは選手だけではなくそれを取り巻くスタッフにとっても大きな夢の実現になります。今後も指圧学校卒業生としてスポーツ界に対して活動を継続していけるように努力してまいります。



金メダリスト北島選手(右)と機内にて



田中達也とゆかいな仲間たち

第4回浪越徳治郎杯争奪芸能大会

平成17年2月11日10時30分より、文京区の茗渓会館にて第4回浪越徳治郎杯争奪芸能大会が行われました。午前 午後の部に分かれ、12組の同窓生、現役生、学校職員の皆さんが出演、総勢51名が参加、鑑賞されました。

24期中島祥景先生のカラオケ「漁歌」を皮切りに、8期鈴木林三先生の自作詩吟「指圧道入門」、14期千原友義先生は三味線の師匠の生伴奏で民謡「磯節」を披露。ハデハデのコスチュームで登場したのは、44期大澤慎吾先生、「BLUE(ビーブルー)」を熱唱。「涙そうそう」を

午後6時は学校の職員、新井智子さん、43期荷田(はずだ)芽子さん、42期高橋雄輔先生による本格的フラダンス。途中、高橋先生が海水パンツ一枚に、上半身には「ハワイ」の文字が。参加者一同ビックリするやら、大笑いするやら。続いて10期高野正文先生の「酒」、昨年に引き続きの参加となった44期大場裕之先生のマジックショー。37期岡田主先生「憧れのハワイ航路」に続き、学校の先生方、41期金子智久先生と42期金子泰隆先生のギターデュオで、「なごり雪」、「空

も飛べるはず」を。芸能大会の最後は、44期小原裕和先生の「ヤングマン」。途中からなんと石塚校長、稲場協会理事長が、「かつら」をかぶっての飛び入り参加。大爆笑の内に全演目が終了した。今回はグラントチャンピオン大会です。第1回から第4回までの優勝者、準優勝者の皆さん、頑張ってください。厳正な審査の結果は以下の通り。(敬称略)

優勝 田中達也とゆかいな仲間たち
準優勝 金子智久・金子泰隆のギターデュオ
準優勝 新井智子、荷田(はずだ)芽子、高橋雄輔「フラダンス」
熱演賞 小原裕和「ヤングマン」
会長賞 千原友義 民謡「磯節」
理事長賞 大場裕之「マジックショー」

詩情豊かに歌い尽くしたのは、「私は浪越先生のこの大会に毎回参加することが……」と語る5期船田弘子先生。午前の部の最後は現役生48期「田中達也とゆかいな仲間たち」田中達也さん、山岸浩二さん、平井浩介さん、宮岡文字さん、小沼英郎さんの5人組。アカペラで「ひとり」と「指圧スローガン」を。会場が5人のハーモニーに注目しました。

上山温泉・塩原温泉 二泊三日旅の記 四期の会

永山 琶奈子 4期

四月十一日、今年で十八回目を迎える恒例の旅が始まりました。十時三十分、東京駅北口から乗り心地のよい新車のマイクロバスに乗車。東京の玄関口から隅田川沿いをルンルン気分。羽生パーキングで小休憩。白いコブシの花が枝一杯に咲き開いて歓迎。お昼は東北道で有名な佐野ラーメンで胃袋を満たし、すっかり

に運ばれる美味しい料理をいただきながら、お得意の歌がそれぞれ披露されて、しばし日頃の憂えさを忘れました。その後、部屋に石原先生がお見えになり、一人ひとりに心の籠もった指圧を施され、頭の下がる思いでした。

翌朝、朝食前にお抹茶をいただきました。山川さんが富山からお茶道具一式を持参され、点てたお抹茶を「銘菓」とともにいただく恒例のお楽しみです。

九時、時代屋を出発、十時三十分、日本三文殊の一つである亀岡文殊と、上杉鷹山を祭る上杉神社の参拝。

米沢藩の鷹山が息子に教え諭した、「伝国の辞」は海外でも有名な由、「国家人民のために立てたる君にて君のために立てたる国家人民には、これなく候」と新渡戸稲造が1900年にアメリカで刊行した「武士道」にこの文章があり、ケネディ大統領も最も尊敬する日本人として上杉鷹山の名を挙げたとのこと。

邸内の食堂での昼食後、飯坂・那須に続く沿道の桜を車窓より心ゆくまで見物。三時に塩原の誇る日本一長いもみじ谷大吊り橋で三十分、六十度のパノラマの空中散歩を体験。四時過ぎ、湯の

花荘へ到着。三階建ての瀟洒な割烹旅館ですが料理とよい細心の心配りに敬服しました。

三日目の朝は気温が十度も低く、一日中花曇りで寒くしつかりと身支度。十時、乃木神社参拝。鳥居前の参道は山桜のトンネルとなっていました。十一時、袋田の滝に到着。高さ百二十メートル、幅七十三メートルと四段に落下する日本百景の三名瀑の一つとのこと。

山菜ソバの昼食後、和紙民芸の里へ。日本特有の和紙作品の美しさ、温かさを肌で感じた民芸展でした。東京への帰りの車中から、

栃木の農家の庭先に数十本の鯉のぼりが体一杯に風を孕み、競って泳ぐ姿は最高の醍醐味でした。三時過ぎに東京駅到着。

幹事の根岸、貝塚、石原諸先生方のご尽力のお陰で素晴らしい旅が出来ました。卒業後四十年を経た今日も立派に御活躍の先生方と、指圧道の益々の発展をお祈り申し上げます。

「桜路を 友と語りし旅の宿」



学校の今

金子 智久 41期

「光陰矢のごとし」、故浪越徳治郎先生が良くおっしゃったお言葉です。本当に時の経つのは早いもので、私が本校を卒業して五年の月日が流れました。私自身はこの五年間でとても進歩したと胸を張って言えませんが、我が浪越学園日本指圧専門学校はこの五年間で着々と学生の為に進歩し、

また進歩し続けていると言えます。きっと私の同窓生や先輩方はとても羨ましく思える進歩内容ではないかと思えます。

まず第一に解剖学実習室が完備され、解剖学実習が始まった事です。解剖学といえば複雑で記憶しなければならぬ事がたくさんあり座学だけでは理解に苦し

み、苦手意識を持つ者が多かったです。しかし今は違います！座学で学び、それを解剖学実習で自らの目で見、手で触り、ビジュアル的感觉で学習出来るのです。特に三次元的に理解しにくい部位、筋の起始、停止、神経の走行。さらには指圧圧点を立体的および断層的視野から学べる事は本当に学習効果を上げています。

第二に図書室の完備です。場所は本館の五階、第一実技室の隣に完備され、8時40分から19時45分まで開放されています。学生が高価



解剖学実習風景



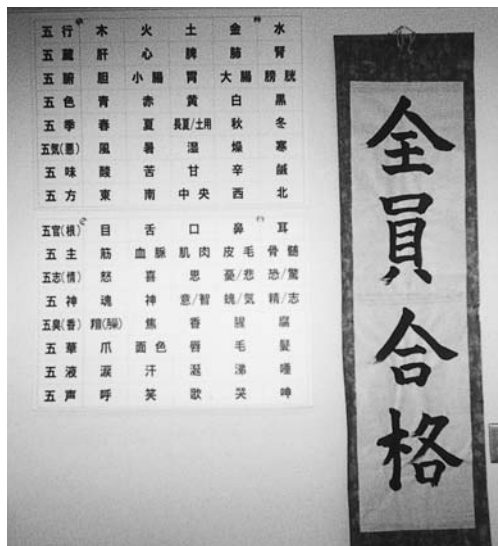
図書室 (本館5階)

で買えない本や事典、絶版になり普通では読めない本から国家試験対策問題集、各種医学雑誌、又歴代の卒業アルバムまで自由に閲覧できます。図書室にふらつと立ち寄つても、結構楽しく、時間の経つのを忘れて読み入ってしまう事もある良い空間です。試験前に学生で混み合うのは言うまでもありません。

といえは、お経の様にただひたすら暗記したものです。が、今は毎日教室に入る度に色体表のポスターが目に入るの、意識しなくても自然と不思議な事に覚えてしまう学生が多いのです。なぜ私の頃には無かったのかと羨ましく思えてなりません。

第三には教室に五行の色体表のポスターが貼られた事です。なにげない事です。が、これが学生にとっては非常に便利で不思議な学習効果を生んでいます。私が学生の時は、五行の色体表

この様に三つ程御紹介させて頂いたが、この他にもタバコの分煙ルームが完備されたり、校舎の内装が化粧直しされ純白の美しさを取り戻したりと数え上げればきりが無い程学校は今進歩を遂げ、又これから進歩していくでしょう。しかし、我々にとって永久に変わらない永遠の象徴が今日も我々を見守り、励まして下さっている。それは世界



五行色体表



故浪越徳治郎先生の銅像

研究発表

指圧刺激による脊柱の可動性及び筋の硬さに対する効果

I、目的

昨年度の研究では、伏臥位で腰部部に浪越式基本操作の指圧刺激を行い、L₄、L₅の位置での脊柱起立筋の筋硬度的変化、立位体前

屈値と脊柱可動域の変化について報告した。

立位体前屈姿勢では、ハムストリングスや腓腹筋が痛くなることはよく経験する。

そこで今年度は臀部から

日本指圧専門学校 学生

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 田附 正光 | 磯崎 芳恵 | 大田 卓 |
| 岡野 昭 | 小峰 勇雄 | 小室 史郎 |
| 清水 元春 | 宮崎 郁恵 | 山田 喜信 |
| 若狭 光広 | 青山 敏彦 | 芦川 洋司 |
| 小作 治 | 奥山 貴秀 | 末岡 寛子 |
| 瀬戸 美昭 | 宮地 愛実 | 宮島 大 |
| 山口 博 | 浅田 秀男 | 小井川 隆 |

指導教員

- | | | |
|-------|------------|-------|
| 甲斐 里恵 | 加藤 正毅 | 佐藤 広大 |
| 豊村 淳 | 藤森 一英 | 水野 洋佑 |
| 神田 浩士 | 石塚 寛 | |
| 大沢 秀雄 | (筑波技術短期大学) | |
| 森 英俊 | (筑波技術短期大学) | |

II、実験方法

1、対象

対象は身体の硬い健康男性27名(18~57歳、平均年齢32.2歳)立位体前屈値

マイナス2.3cm~マイナス24.5cm(平均マイナス10cm)であった。

年4月17日~6月26日の土曜日の午後1時30分から5時の時間帯で行った。

2、実験場所及び期間

日本指圧専門学校の指圧実技実習室に於て2004

3、測定項目

立位体前屈は立位体前屈測定器(ヤガミ社製)を用



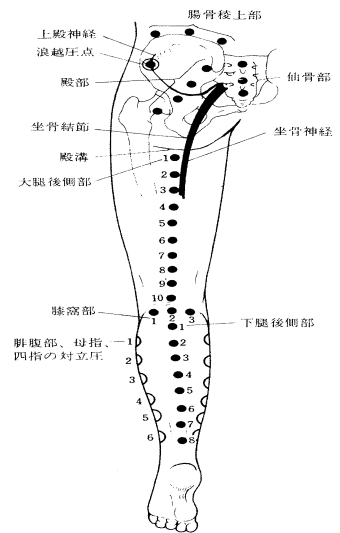
図2 ピーナストロン®による測定



図1 立位体前屈とスパイナルマウス®による測定

い、脊柱の可動性は脊柱測定器(インテックス社製スパイナルマウス®)を用い、直立、体前屈、体後屈の3姿勢を測定し、筋の硬さは筋硬度測定器(アクシム社製 ピーナストロン®)を用いて、左右の大腿二頭筋中央部と腓腹筋中央部を測定した。

図1、図2に測定器及び測定風景を示す。



浪越徹、「完全図解指圧療法」より引用

図3 指圧部位

- 4、データの保存
スパイナルマウス、ピーナストロンからのシステムを介してノートパソコンに保存した。
- 5、刺激方法(図3)
浪越式指圧®は全身の施術が基本で、その一部伏臥位で臀部から下肢後部で以下の通りとした。
 - (1) 仙骨部3点、臀部4点、浪越圧点
 - (2) 大腿後側部10点、膝窩部3点
 - (3) 下肢後側部8点、腓腹筋6点
 - (4) 踵骨隆起部3点、両側部3点
 - (5) 足底部4点、土踏まず1点

- 6、実験手順
脊柱測定器で測定するためのマーキングを右脊柱起立筋のC7とS3の高さに施し、筋の硬さを測定するためのマーキングを左右の大腿二頭筋中央部と腓腹筋中央部に施した。
立位体前屈および脊柱可動性測定は高さ45cmの台で行い、筋の硬さの測定および指圧施術は、畳の上に敷いた薄い布団の上で行った。
手順は以下の通りとした。被検者には、腰痛など日常的な自覚症状等をアンケート用紙に記入させた後
 - (1) 施術前立位体前屈および脊柱の可動性(直立、体前屈、体後屈姿勢)測定
 - (2) 施術前の筋の硬さ測定
 - (3) 仙骨部から下肢後面部、足底まで浪越式指圧の基本操作で施術
 - (4) 施術後の筋の硬さ測定
 - (5) 施術後立位体前屈および脊柱の可動性測定

- 7、データ処理
(1) 脊柱の可動性について(図4、5)
スパイナルマウス®で測定した直立、前屈、後屈の姿勢で、脊柱傾斜角度はS3を基点とした鉛直方向への直線を基準にしてC7からS3を結んだ直線の傾斜角度を前屈方向をプラス、後屈方向をマイナスで示し、脊椎傾斜角度は水平を基準にして、仙骨を含む各椎体間の傾斜角度を前屈方向をプラス、後屈方向をマイナスで示す。
図5は立位体前屈で指圧前後のグラフを重ねたもので、指圧後の脊柱の可動性が増したことを示している。
(2) 筋の硬さについて(図6)
触覚センサーを30gで押し込んだ時の往路の振動周波数変化量を刺激前後で比較した。

図のX軸は押し込んだ圧力を、Y軸はその時の共振周波数で、グラフの傾きがX軸に近いほど筋は硬く、Y軸に近い程、筋が柔らかく、筋の弾力性は押し込み圧力の復路と往路の振動周波数の差で示され、差

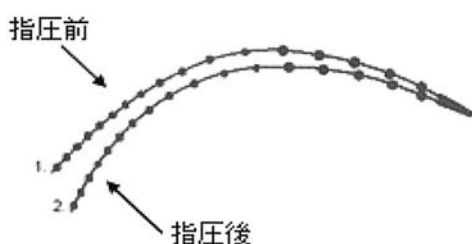


図5 立位体前屈指圧前後の比較図



図4 スパイナルマウス®測定グラフ

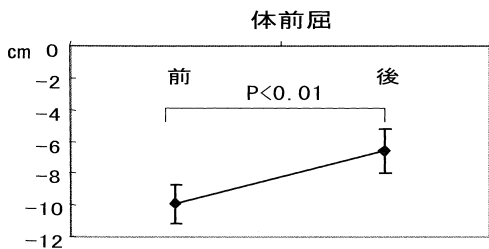


図7 指圧前後の立位体前屈変化

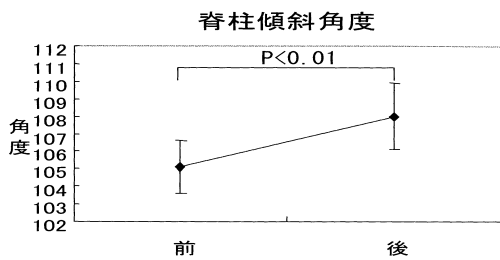


図8 指圧前後の脊柱傾斜角度変化

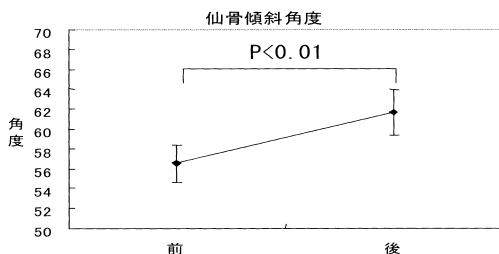


図9 指圧前後の仙骨傾斜角度変化

が少なくなればなるほど弾性が増加する。

Ⅲ、結果

1、立位体前屈(図7) 刺激前・ 9.9 ± 1.2 cm (mean + SE)、刺激後・ 6.6 ± 1.4 cmで有意に改善した($P < 0.01$)。その内訳は1 cm以上改善23例、

刺後+ 56.5 ± 1.9 、刺後+ 61.6 ± 2.3 でその内訳は24例で改善がみられ、

2) 仙骨傾斜角度は(図9) 刺後+ 56.5 ± 1.9 、刺後+ 61.6 ± 2.3 でその内訳は24例で改善がみられ、

4、筋の硬さについて エラーデータ4名を除いた23例中

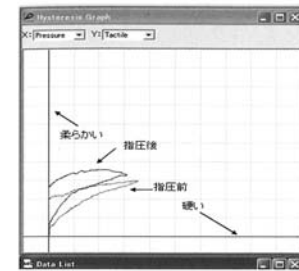


図6 ビーナストロン測定グラフ

変化なし2例、悪化2例であった。刺激前測定値から刺激後測定値を引いた前後差の平均は 3.3 cmであった。

2、脊柱の可動性

(1) 脊柱傾斜角度は(図8) 刺後+ 105.5 ± 1.5 、刺後+ 108.8 ± 1.9 で有意に改善した($P < 0.01$)。その内訳は19例で改善がみられ、変化なし2例、悪化6例であった。前後差の平均は 2.8 であった。

(2) 仙骨傾斜角度は(図9) 刺後+ 56.5 ± 1.9 、刺後+ 61.6 ± 2.3 でその内訳は24例で改善がみられ、

(1) 指圧前後の立位体前屈の変化と脊柱傾斜角度の変化には相関係数 $r = 0.817$ の有意な正の相関が認められた。(図10)

(2) 指圧前後の立位体前屈の変化と仙骨傾斜角度の変化には相関係数 $r = 0.598$ で、有意な相関は見られなかった。

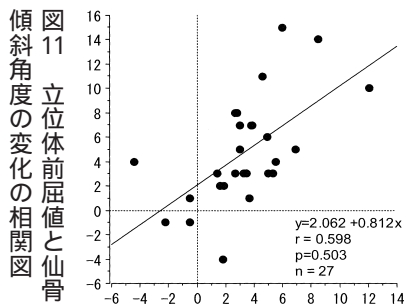


図11 立位体前屈値と仙骨傾斜角度の変化の相関図

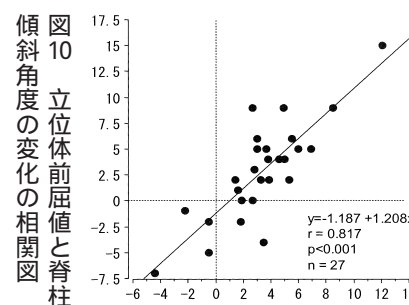


図10 立位体前屈値と脊柱傾斜角度の変化の相関図

(1) 左大腿二頭筋中央部で、硬さは改善9例(40%)、悪化13例(57%)、変化なし1例(4%)であった。弾性は増加12例(52%)、減少11例(48%)であった。

(2) 右大腿二頭筋中央部で、硬さは改善11例(48%)、悪化12例(52%)、弾性は増加14例(48%)、減少9例(40%)であった。

(3) 左腓腹筋中央部で、硬さは改善12例(52%)、悪化10例(44%)、変化なし1例(4%)であった。弾性は増加15例(65%)、減少8例(35%)であった。

(4) 右腓腹筋中央部で、硬さは改善13例(57%)、悪化10例(44%)、弾性は増加12例(52%)、減少11例(48%)であった。

今回の研究で、指圧刺激によって立位体前屈が有意差をもって改善した結果は、浅井ら¹⁾、衛藤ら²⁾の研究と同等の結果であることから、再現性の高い現象であると言える。

指圧刺激によって、大腿二頭筋中央部や腓腹筋中央部の硬さが改善すると予想したが、筋硬度計の測定値からは明確な結果が得られなかった。その理由として考えられることは

今回の研究で、指圧刺激によって立位体前屈が有意差をもって改善した結果は、浅井ら¹⁾、衛藤ら²⁾の研究と同等の結果であることから、再現性の高い現象であると言える。

指圧刺激によって、大腿二頭筋中央部や腓腹筋中央部の硬さが改善すると予想したが、筋硬度計の測定値からは明確な結果が得られなかった。その理由として考えられることは

(1) ビーナストロンの測定センサーを昨年同様10ミリで押し込んだが、大腿二頭筋や腓腹筋など大きな筋肉には浅かったと考えられる。

(2) 体前屈でハムストリングスや腓腹筋が痛くなる

(1) 浅井宗一他：指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果(第2報)、東洋療法学校協会誌26号・35、39、2002。

(2) 菅田直記他：指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果(第2報)、東洋療法学校協会誌26号・35、39、2002。

(3) 衛藤友親他：指圧刺激による筋の柔軟性に対する効果、東洋療法学校協会誌27号・97、100、2003。

(4) 浪越 徹：完全図解指圧療法普及版、日貿出版社、東京、1992。

場所は、筋腹ではなく筋腱に近い場所、硬結部分を測定すべきであったと考えられる。今後の課題としたい。

V、結語

下肢後側の指圧刺激によって、脊柱の可動性および立位体前屈が改善された。

稿を終えるにあたり、本実験に協力して頂いた本学学生および教職員諸氏に心より感謝の意を表す。

第四十六期卒業式

第46期卒業式

平成16年度第46期卒業式が、3月5日午前10時から行われた。開式の辞、君が代斉唱の後、各担任の呼名により卒業生一人一人が壇上に上がり、石塚寛校長により、卒業証書と専門士の称号が授与された。

続いて、各賞の授与（各賞及び受賞者は別欄に紹介）に移った。

石塚寛校長の式辞、浪越和民理事長の祝辞に続いて、元文部大臣鳩山邦夫先生（代読）、稲場哲夫日本指圧協会理事長、鈴木林三同窓会副会長より祝辞をいただいた。次に祝電披露、来賓紹介の後、在校生代表・山中崇生氏の送辞、在校生代表・古谷亮氏の答辞、小林勇雄さんから卒業記念品の贈呈（バソコン）

「仰げば尊し」「指圧賛歌」の合唱。閉会の辞をもって卒業式を終了した。

12時より卒業謝恩パーティーが開催。46期校友会長古谷亮



卒業生の晴れやかな顔がまぶしい

氏、石塚校長、浪越理事長の挨拶、田村鉦二先生の乾杯発声となった。歓談後、三年間の思い出がスクリーンに上映され歓声が、「蛍の光」を合唱して14時に終了した。受賞者は次の通り（敬称略）。

※個人情報保護の観点から、受賞者名はホームページ上では掲載しておりません。

卒業生代表メッセージ

増田昌弘 A組

体力には自信があった私ですが、往復五時間の通学と仕事に頑張ってきたせいか、三年目は息切れしてしまいました。仕事を減らしてもう少し勉強すれば良かったと後悔しています。でも素晴らしい先生方と良い仲間が巡り合えたことで、三年間の学業を無事終えることが出来て、ほっとしております。

これからは本当の意味での勉強のスタートだと考え、社会に貢献できる様努力していきたいと思っております。有りがとう御座いました。

藤澤 絵美 A組

大好きな相田みつをさんの言葉「一生勉強、一生青春」に励まされ、始まった3年ぶりの学生生活。主婦、母親との三足のわらじです。期待と同時に不安一杯の入学式でしたが三年間の学校生活では素晴らしい先生方、心優しい様々な年代に友人達、そして何より家族の協力で恵まれ充実感一杯の卒業式を迎える事が出来ました。先生方を始めとする全ての方々への感謝と共に浪越で学んだ成果をこれからの出会いに生かしていきたいと思っております。

上村 洋平 B組

最初に色んなひとに迷惑と心配ばかりかけていたとおもいます。(笑)でも本当に色々なことを自分のなかで考えることができたとおもいます。優しい仲間。時にはきびしい先生。職場の尊敬できる先生たち。親の愛情の大きさ。一生懸命はやっばり正しいこと。自分は人に支えられているという。たくさんさんとの支えをもらいました。これからは自分が人にい로운なものを与えていけるように感謝の気持ちで忘れないで。一歩一歩進んでいきます。

八馬 華恵 B組

働きながらの三年間で、こんな濃く楽しかった学生生活はなかったです。行事が多いというヒトもいるでしょうが、卒業した今、私が声を大にして言いたいのは学校は楽しんでモン勝ちです！そして強くだん願って頑張れば、頑張った分必ずよい結果が返ってくるという事です。自分ひとりじゃないんだと何度勇気づけられたか！そう思わせてくれたクラスのみや職員のみなさん、先生や職員の方々に本当に感謝しています。

古谷 亮 C組

三年間の学生生活を終え、四月からは晴れて指圧の道に入っていきます。様々な困難があると思います。時には諸先輩方からのご指導を仰ぐこともあるでしょう。その時にはどうぞよろしくご指導をお願い致します。

初心を大切に、常に向上心を持ちながら謙虚に歩んでいきたいと思えます。徳治郎先生のご遺志を受け継いで諸先輩方が築きあげられたこの浪越指圧の一翼を担い、翼をさらに広げることが出来ますよう、励みたいと思えます。

伊藤 広美 C組

三年間の実技で、クラス全員と指圧しあい、指圧でお互いが心を許すような感じが出来て、今までの学校生活にはない信頼関係をもてたように思う。今後も多くの人に関わりながら、指圧を続けていきたいと思う。

草刈 智 D組

日本指圧専門学校へ入学してから、はや三年の月日が流れていきました。入学した当初、専門学校は、中学、高校とは違い、年代、人生経験などさまざまな人たちと出会うことで驚きました。社会人である自分にとって、これだけのいろいろな方とつべんに知り合うことになることは、想像を超えたものでした。そのうえ、みな同じ目的を持って一緒に勉強し、催し物に参加するという経験は、自分の人生の糧になったと思えます。この学校で得た知識や経験等を卒業後にうまく生かして行きたいと思っております。

宮崎富美子 D組

入学当初は長いと思った三年間も過ぎてみればあっという間でした。今まで勉



強などした記憶がなかった。定期試験のたびにかなり苦戦しました。遠かったせいもあり一年時は体調が思わしくなく毎日即効で帰宅、慣れてきた三年時は国家試験の勉強で余裕がない状態。クラスのみならず話したかったなと思いましたが、それとこつこつ勉強すれば結果がついてくるという学生時代には感じられなかったものを得ることが出来ました。

平成十七年度

第四十九期入学式



桜の花も咲き始めようとする四月二日(土)、茗荷谷の茗溪会館にて日本指圧専門学校、第49期生の入学式が開かれました。当日は晴天に恵まれ、式前から、やや緊張気味の新入生の熱気が会場に満ちていました。林副校長先生の開式の辞の後、君が代斉唱に続き、新入生呼名では一年生担任の石黒先生、廣瀬先生の呼

びかけの声に、新入生は大きな声で応えていました。校長式辞、理事長祝辞に続き、来賓の日本指圧協会の稲葉理事長、同窓会青木宏会長の祝辞。式は順調に進み、校歌斉唱、閉式となりました。式の後、クラスごとの記念撮影が行われ、49期生の入学式は無事終了しました。



「新入生の抱負」

一 A 吉田 和江

私が指圧師になろうと決めたのは、夫のガン闘病での経験を役立てたかった事からでした。夫は一昨年に亡くなりましたが、ガンが再発してからの二年間は自分でガンを治さなければと、積極的に食事療法・自然療法・代替医療に取り組みました。しかしガンの痛みが出てきてからは、どれも痛みをとる事が出来ませんでした。そんな中で指圧が痛みを軽くしました。そして日々の心の動きと痛みが運動している事も知りました。自分の好きな事をし、笑顔で過ごす時間が持てた事は家族にとっても大きな喜びでした。私は笑顔で患者さんに寄り添い、痛みを軽くするお手伝いをさせて頂きたいのです。この三年間で指圧の技術を学び、自分の内面も磨いていきます。入学させて頂き本当に感謝しております。

一 C 三浦 隆洋

何度目かの、スタートの春を迎えましたが、今年の春は、夢が現実のものとなるための初めての一步です。私は、中学、高校、大学と、バレーボール部に所属しておりました。腰痛や捻挫などで、治療院にたびたび行く様になり、熱心な対応に接して、いつの頃からか将来の仕事にしていきたいと、思うようになりました。日本指圧専門学校に出会えた事、入学出来た事は、私の夢の実現にとっても大切な一步であると思います。今まで、出会えた方々に感謝をして、これからの三年間を、有意義に、一日一日を大切に夢の実現の為に努力していきたいと思えます。

新入生の抱負

一 B 下山 達矢

私は今、この先の将来に対して大きな期待を持っています。正直な話、この学校を受験する時点では不安要素もあり本当に自分で出来るだろうかと考えておりました。しかし、今では、多くの先生や先輩達にお世話になり激励して頂いたおかげで不安は消え将来の希望に燃えています。これからの学校生活でしっかりと基礎を学び将来への足がかりをつくる一方で、社会人としての自立を学んでいくという事も頭に入れて、考えていくつもりです。初心を忘れず、多くの人々に支えられてきた自分が皆様の期待に添えられるよう勉強を重ねて自分の決めた道に向かって全力で進んで行きたいと思えます。最後になりましたが三年間、がむしゃらに頑張ってくださいますので、ご指導の程よろしく申し上げます。

一 D 玉置真梨絵

私が指圧師を目指そうと考えたのは一年前でした。小さい頃から両親に肩もみや肩たたきをするのが好きで、専門的に学びたいと思い、日本指圧専門学校に入学することを決意しました。今、西洋医療は機器や薬の開発が進み、今まで治せなかった病気も簡単に治せるような時代です。しかし、私はこういう時代だからこそ医療の原点の指だけで人の痛みを和らげ、喜ばせられる指圧に魅力を感じました。今まで自分が勉強してきたことは全く別方向の分野で、大変なことは多くあると思いますが、これからこの学校で三年間知識と技術をたくさん身に付け、一人でも多くの人に癒しを与えることができるように日々努力していきたいと思っております。そして、三年後の成長した自分の姿を両親に見せ、治療してあげることが今の私の夢です。

特別寄稿

浪越指圧の真髓

日本指圧協会理事長 稲場 哲夫



浪越指圧には、世界共通するものが三つある。一つは治療点をツボの名前を使わずに十から十の万国共通の数で全身指圧を基本圧点として体系づけている。

二つ目は、指圧の心、母心である。

三つ目は、笑いである。

現在、世界に色々な手技療法があるが、「二十一世紀のニーズに応える手技療法」の中心になって応えるのが、浪越指圧であり、広める事は、世界平和の道に通じると思います。

凡そ動物の中で手が自由に使えるのは人間だけではありません。人類文化はすべて手による所産であります。いかに機械文明が発達しても、手の力を借りねばその機能を発揮することは出来ません。昔から「中当て」という言葉がありますが、なかなか意味深長な言葉であります。

指圧とは指で圧す療法である。痛い所を圧すのは人間の本能的操作でこの本能は神様から授かった知恵で

ある。生まれたばかりの赤ちゃんが母親のお乳を吸う年頃になると恋心が芽生えてくる。食欲も性欲もみな本能から来た神様からの知恵であるが、この神様から授かった操作を科学的に体系づけたのが今日の指圧である。

(一) 診断即治療

指圧療法の最も優れた特徴は、「診断即治療」であります。一圧の中に診断と治療とが適切に行われることとであります。

圧してみても固いか柔らかいか、熱があるか、冷えているか、脈があるか乱れているか。それに応じて強くおし、弱くおすのである。

両手拇指圧といって、左右の拇指を同時に人又は入字につけると、一点に感じる。これは、左右の目で見ると一つに見えるのと同じです。左手は、右脳で探ると

いう診断的感覚がすぐれていて、右手は左脳で力強く治療に適した拇指であります。両手拇指圧は、診断治療の押し方で、7・3、

4・6、五分五分と左右の押し方の変化で、千変万化の診断即治療となりこの妙味を発揮出来ねば指圧の真価を発揮することは出来ません。

日本には「禪」という宗教があるが、この教えの中に「哮喘同時」という言葉がある。鶏が卵をかかえひなをかえずとき、生まれ出んとするひなが、卵の力を内側からつつく、親鳥は同時に外側からつつく。

この内と外、場所も同じ、時刻も同じ、卵の力は破れて一つの生命が誕生する。これを禪では「哮喘同時」と表現してものの極意と教えている。人体には、生命力がある。なおろうと

いう生命力と、治してやろうという指圧師の呼吸がピッタリ合い、「哮喘同時」となる。これが指圧の真髓である。

(二) 機械器具、薬物等は必要としない。手技のほかに、機械も薬物も用いないいつでも、どこでも施術が行える。

(三) 不快感や副作用を伴わない。からだがかたい状態であっても、指圧をうけると、不快な痛みでなく快痛を感じ、心地よくうけられ、薬物や注射による副作用や他の手技によるモミ返し等の、うずきや痛みは起こらない。

(四) あらゆる年齢層に適した治療ができる。幼児から高齢者に至るまで、からだに合った治療ができる。幼児は体質を早期に改善ができ、青年層には成人病の予防ができ、中高年層には老化防止となり、健康長寿への道となる。

(五) 抵抗力をつけ病気の予防となる。指圧をうけることにより、自分の疲労の度合いがわかり、健康のパフォーマンスと

なる。定期的に指圧をうければ、全身の皮膚、筋肉の柔軟性を保ち、細胞組織の賦活力が、からだの自衛機構となり、抵抗力を増し、疾病の予防となる。

(六) 全身を指圧する。

たとえば、頭が痛くても、腰が痛くても、その部分だけの指圧ではなく、全身を指圧することにより、いっそうの治療効果が現れる。部分的な指圧だけでは、一時的によくはなるだけで、対処療法で終わってしまうことともあるので、全身操作を行い、特に症状に適する部分を重点的に行うことにより、根本的に治療が可能となる。

治療にあたり、全体を見、考えながら局部にあたることとが大事である。局部のやり方がなござりにされると、決して良い結果は出ない。熟練された指圧師は細部、局部を能率的にこなしていき又細部に決して手を抜かない人なのだ。

指圧を理解しない人々の中には、指圧はあんまの中の圧迫法だと誤解しているようですが、根本的に間違いであります。圧迫法だと思いうから強く圧せばよいと考え、遂には棒切れでもよ

いという考えになるのであります。指は生命であり人間の意思と実行を代表するものであります。修練されたる指圧師の一圧の中には、圧すことも、モムこともサスルことも或いは引くことさえも含まれて患部の状況に応じ千変万化の診断即治療が行われるのであります。この指圧の極意を会得し指圧の醍醐味を満喫できる境地に達するには、ただただ一心不乱で指圧の真髓を求め行なうことである。身心、耕(たが)やす技(わざ)に意味あふれ、生きていく道 光り輝く(心、技、体で心身統一して、荒れた体凝った体を指圧で耕すの意)

指圧のスローガンに「指圧の心、母心、おせば命の泉わく」というのがある。この母心というのは、相手の身になって思いやる心である。思いやりの心が大切なのである。

指圧療法はこうした「愛」のしるしから出発している。故に指圧する心には愛がなければならぬ。それは、人と人の心のふれ合いである。

今日より明日へ 同窓生からの便り

指圧の心母心

日本指圧協会長野支部長

井尾 榮 22期



毎日朝目を覚ますと、治療室には指圧国際大会や指圧国際親善セミナーなどの横断幕や、各国を訪れた記念写真が沢山飾られている。其の中に幅36センチ、縦50センチの恩師浪越徳治郎先生の写真が凛凛しく、胸には日本国天皇より叙勲された勲章を輝かせて、私に呼びかけて居られる感じの御写真が飾ってあります。恩師浪越徳治郎先生の天皇よりの叙勲「勲四等旭日小叙章」です。

指圧の心
母こころ
井尾は生命の
泉湧く
同志の皆々様、このス

同志の皆々様、このス

ローガンで頑張ってください。其れに致しまして先ず我々の健康が第一です。自己指圧で一日の疲れを解消し、月に二、三回は我々同志の全身指圧で治療交換を行い、健康管理を致しましょう。そして患者様の治療は親切丁寧に喜ばれる施術を致しましょう。

昭和五十五年三月、私は日本指圧専門学校を卒業し国家試験も無事合格。免許番号一九三一。多くの患者様に指圧治療証明書印に使用する。恩師浪越徳治郎先生と井尾榮の想い出の二人旅。卒業の折、東京都知事からの依頼で我が指圧学校に、「日中友好親善の旅」への参加者の募集がありました。恩師は「井尾さん、私と二人で旅に出ましよう」と話があり、私は大賛成。幸運が訪れたと大喜びでした。

関東及び中部地区の各種

学校代表者と一緒に羽田空港より立ち、中国の上海に到着。バスに乗り、中国の優秀な少年宮の子供達に楽器の演奏で熱烈な歓迎を受けました。当時は老いも若きも男女共、国民服で揃いでした。先ず上海で一泊。日本語の上手な案内人は蘇州への列車の中で、中国もあと二十年後には、日本と服装も同じようになり、上海にはビルが建ち並び、栄えた国に必ずなります。」と張りきっておりました。

情熱を傾け20年

畑中 糸美 28期



平成16年10月20日超台風23号の襲来で新幹線がストップされた日、日本指圧協会主催の指圧道実技試験が実施された。いかなる天災に遭遇されようとも指圧師としての職業人の強烈たる波動を強く感じ心暖まるものを感じました。

蘇州では中国独特の建築が日本人の目を引きました。蘇州から舟下りて両側に中国特有の山系を見て勉強になりました。上海で、お別れのパーティに招待され、中国ならではの料理で舌を丸めて大変お世話になりました。各所に飾られた「熱烈歓迎」の看板とも別れを告げ、楽しい思い出の恩師浪越徳治郎先生と井尾榮の二人旅でした。

自然界がおこりだしたように思います。私は人生20年サイクルで、旅館経営20年、指圧営業20年を続行中です。今現在、世の「定年」という言葉に逆行し、更に拍車がかかり人の為、世の為、社会への貢献を「指圧業」一筋に誠実に続行しつつあります。バブル崩壊から経済が低迷するばかりか、天地位災が拡大され侵され不安だらけのこの頃ですが、一番悲しいのは人間が荒んできている事です。じっとしていれば誰かがどうにかしてくれるはずは絶対ありえないのです。自分を支えてくれる物は只一つ「指圧業」であることに自信と誇りをもち生き抜いていくのです。塩から汗を感じながら興奮したり、感動したりする時に腹がよじれるくらい笑いこぼれたりする事が、一生懸命今を生きている証拠だと思っています。

「指圧の心、母心」の精神は、あまりにも厳しい時代になればなるほど人々が必然的に求めてくるものであり、その役割を少しでも果たしていける事が、真の幸福であることを感じています。それは指圧業で臨床に携わっていれば、その実態がよく理解できる事だと思います。継続は必ず大きな力となります。不透明な現代社会状況のなかで一人一人が生きていく為に、真剣に模索し、考えながら足場を確認しながら行動していかねばなりません。「北風と太陽」のごとく困難から逃げてはなりません。組織を固める事は自分達自身の社会的地位の獲得でもありません。地道な努力が社会的評価につながっていくものと思います。自分自身がいつまでも健康を保てる秘訣は「指圧」という業を、いかに大切に遂行していくかという事が根源となっております。立て続け、台風や地震・災害・環境汚染に侵されても、庭の緑は更に濃く美しく彩り、毅然たる姿で堂々と語りかけてきます。自然に教えられ気をいた

指圧道を目指して

一心一指 中田 健二 43期



今から二十三年前、転勤

で、札幌から東京に戻ってきた時、通勤バスの中吊広告で見た、指圧ファミリ教室に通ったのが指圧との出会いであった。

それから一九九七年に早期優遇制度が発令され、即応募して、即十二月の入試に挑戦、結果は不合格。指圧ファミリースクールに三ヶ月ごと更新しながら、一年間続け再度挑戦。一九九九年やつと六回目の二次試験で、昼間部に合格しました。

一九九九年の四月入学式の当日、少々早めに校舎に到着、そこに黒塗りの車が到着、徳治郎先生が中から降りてこられ、和民先生の許しをえて写真撮影に成功した。千載一遇の出来事であった。

二〇〇〇年スペイン第十三回指圧国際大会に参加出来たことはとても貴重な体験であった。卒業はもろろんのこと国家試験に合格することが最終目的であり、正直言ってその先のことはいはあまり念頭においてなかった。

いざ指圧師になって出張専門でやってみたところ、チラシを手作りし、企業、個人店へと営業に巡ったが、はかばかしくなく、やむをえず定収入になる治療院に就職した。入ってみると、資格よりも経験年数を重視し、ややもすると無資格者のほうが優遇されていた。消耗品の様な感じがした。やはり自分でやらなければと思い、融資を受け営業車を購入し再度始めた。しかし出張専門だと一心一指の看板名が使用できず、同じ資格なのに保健所届出の出張専門と開業との格差を感じた。

現在は柏市高田に於て指圧一心一指を開業することが出来た。

て載るまでに一年かかった。二十四時間体勢で営業し、柏・松戸・我孫子市国民保険指定施術者登録となつて

いる。お客様は施術後「良かった」「楽になった」という言葉を聞き笑顔に合うと、

指圧、なぜ?



Woodburn A.G. 48期

仕事の充実感と喜びを感じます。活気を磨き、極めれば言の道に通じ陽となる。一圧一圧、大事に心を込めて、まだまだこれからですが指圧道を目指して地道に精進していきたいと思います。

現在浪越学園の2年生です

が、この話は入学する45年前のこと。

その当時僕は合気道に励んでいて、頻繁に受ける痛みを和らげるために近所の鍼師に週一回程度通いはじめた。そのうち常連の客となつて、先生は僕の体の変化などについて色々丁寧な説明してくれた。初めて東洋医学に接する僕には最初耳慣れない話ばかりを聞いて訳が分からない状態だったが、段々納得して「東洋医学って面白いな」と思うようになった。「なんかもうちょっと深く入りたけれど、鍼はとて

きで、50代半ばぐらいかなと思つたが、それにしてもとても元気そうなオーラの持ち主だった。

先生は基本指圧を教えるならいろいろと自分の体験や指圧との健康関係の意見を述べた。興味深い話ばかりで、すっかり僕は指圧の世界にのめり込んでいった。ちょうど自分の人生の方向性に悩んでいる時期で、「指圧の道はいいな」と何となく思い始めた時だった。先生にこの熱心な気持ちがあつたみたいで、とても親切に教えてくれた。

最後のクラスが終わって先生と雑談をしているところ、自分のカナダにいる両親の話をした。段々年をとつていって、僕が日本に住んでいる間、いつの間にか老人になりかかっている話など。

「両親はいくつですか」と先生は聞いた。「今68歳です。」

「じゃ、私より2歳上だな。」

「先生は66歳? 思つたより10年ほど上なんだ。」

分の健康にもなる。全循環で、お互いによくなる。」なるほど。

「だからね、いっぱいお酒を飲んだりタバコをすつたりする先生もいるけど、正直言つてそういう先生の指圧をあまり受けない方がいいよ。」と断言。「テクニクが上手くても健康的な気を出していないからね。」

厳しい一言だった。実は通っている鍼の先生がこそそタバコを吸っている姿を見たこともあるし、僕だつてお酒が嫌いではないというのには事実だし、人間つて色々短所所長所あるのではないか。でも、目の前にその道を歩むべき指圧の道を通つて来た先生の不死身の姿をみて、納得するしかない」と、とにかくとても印象に残る話だった。

何年かたつてからやつと学校に通う機会があつて、どうしようか鍼にしようかと、色々考えたり学校を調べたりしたが、どうもあのファミリースクールの先生が頭から離れなくて、やっぱり運命的な出会いだったかなと、浪越指圧に強く縁を感じた。

さて、今の指圧師の卵の僕はある千里の道の一步を踏み込んだところだ。めげない、めげないーきつと遠い先には、先生がニコツと笑つて待っているのだ。

「先生がニコツと笑つて待っているのだ。」

寄付金賛助者ご芳名

同窓会会員の皆様から

寄付金を頂戴いたしました。

平成十六年度 四二四件

一、五五二、一五〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。数字卒業期（敬称略、順不同）

☆六万円

☆川原善次郎

☆四万八千五百五拾円

☆日本指圧専門学校

☆六万円

☆六笠富美江

☆式万円

④根岸とき枝 ②井上征夫 ③丸井秀人

☆巷方八千円

☆稲澤章

☆巷方六千円

②井尾栄

☆巷方壹千円

③福井素子 ④西海泰子

☆巷万円

☆ひふみ会 ⑧西島操 ⑨川上よし

⑮川上千代子 ⑯菊川一也 ⑰池

永卓雄 ⑳赤坂かつえ ㉓遠藤一

枝 ㉔多田博子 ㉕鶴見せつ子 ㉖

室岡和廣 ㉗畑中糸美 ㉘小倉義

夫 ㉙柴田芳市

☆九千円

⑰上野欣二 ⑱林なを

☆八千円

④菅野不二 ⑨小林真希 ⑩佐藤

一美 ⑮国田イト子 ⑯佐藤喜久

⑰小山福松 ⑱山岡祥宏 ⑲中

里幸子 ⑲小野寺英男 ⑳川口義

宏 ㉑諏訪賢司 ㉒小野勝一 ㉓田

代和平 ㉔国山政重 ㉕田島市五

郎 ㉖上野力信 ㉗渡辺あき子 ㉘

関伊智朗 ㉙尾上美夫 ㉚天野芳

子 ㉛山崎克己 ㉜上野松寿 ㉝宮

田經子

☆六千円

③齊藤鉄夫 ④森岡忠司 ⑤荒川

隆司

☆五千円

④石原博司 ④村越てい子 ⑧赤

澤えい ⑨四條静江 ⑩勝尾圭三

⑩高野正之 ⑪須田麻紗子 ⑫原

田隆弘 ⑬小林秋朝 ⑭高橋弘安

⑮後藤和江 ⑯日野紘造 ⑰青木

宏 ⑱小林義孝 ⑲舟津昌亮 ⑳角

正安 ㉑遠藤ミツ ㉒松下淑江 ㉓

西千鶴子 ㉔大田博久 ㉕藤森増

雄 ㉖二階堂静夫 ㉗宮城勝次郎

③石川明子 ④田澤千代子 ⑤小

倉秀雄 ⑥襲田佳男 ⑦横川純夫

④佐々治六郎 ④小原淑子

☆参千円

正会員・松本一雄 ①大日方子

西①増田清一 ①持木光子 ②皿

井千代子 ②前田英男 ③藤田和

子 ④瓦和夫 ⑦鈴木篤 ⑦内山和

子 ⑧藤井正弘 ⑧藤井トシ子 ⑧

武田紀行 ⑧中村フミ子 ⑨石塚

トヨ ⑨鈴木玉子 ⑨野口幸子 ⑩

荻野キク工 ⑩小出忠志 ⑩大滝

勝雄 ⑩田辺晴一郎 ⑪佐藤脩 ⑪

原田ユキ子 ⑪村松力子 ⑫平

石富三 ⑫柳澤光男 ⑬田端哲郎

⑬高橋宏 ⑬椿行雄 ⑬成瀬勝平

⑬木村千恵子 ⑬田代陽一 ⑭廣

川良昭 ⑭若杉ミイ ⑭山崎加代

子 ⑭松川昭好 ⑭湯浅キヨ ⑮三

河哲夫 ⑮和田正行 ⑯入山君子

⑯川根和子 ⑰上田桂三 ⑰齊藤

良知 ⑰山本鈴子 ⑱石川せつ ⑱

原忠雄 ⑱井芹幸夫 ⑲田代陽一

⑲新田康 ⑲鈴木純隆 ⑲小倉和

子 ⑲佐藤玄祥 ⑲城水佳子 ⑲関

口政輝 ⑲高橋葉子 ⑲海上富雄

⑲福田ゆきる ⑲藤田一彦 ⑲武

藤圭子 ⑲江連勝雄 ⑲尾形千草

⑲千葉とき子 ⑲佐久間健司 ⑲

片岡弘昌 ⑲相野谷眞 ⑲川本博

子 ⑲窪悦基 ⑲服部青香 ⑲伊村

廣 ⑲小美濃隆 ⑲橋本二郎 ⑲平

沢紫郎 ⑲宮脇利博 ⑲伊藤美智

子 ⑲佐藤三子 ⑲馬場正義 ⑲山

田紀美子 ⑲問田十喜子 ⑲石崎

房枝 ⑲立花義明 ⑲村井美枝子

⑲黒沢信男 ⑲胡桃愛子 ⑲向井

剛 ⑲有田純夫 ⑲井谷裕行 ⑲小

杉和 ⑲沢畑碩亮 ⑲坂田好太郎

⑲飯塚敏雄 ⑲栗原美子 ⑲飯島

治雄 ⑲稲葉豊 ⑲岩崎義男 ⑲笠

原正親 ⑲藤原博 ⑲加園政夫 ⑲

仲里高明 ⑲内城勇造 ⑲樋口光

夫 ⑲喜多村高枝 ⑲小島忠雄 ⑲

田中克幸 ⑲松永哲夫 ⑲小林き

よゑ ⑲中島祥景 ⑲関根康博 ⑲

鳥山久子 ⑲花垣浩美 ⑲丸山眞

一 ⑲山下泰治 ⑲吉本清隆 ⑲池

田知以子 ⑲宇佐美康夫 ⑲小川

治子 ⑲廣明文夫 ⑲立野忠義 ⑲

岩見和夫 ⑲藤沼しず子 ⑲中山

節 ⑲岡本一宏 ⑲樋口正汎 ⑲古

島昇夫 ⑲佐野寛 ⑲齋藤啓介 ⑲

山本汎代 ⑲石塚怜子 ⑲寺東美

代子 ⑲佐野寛 ⑲板谷智 ⑲鳥山

等 ⑲安村淳 ⑲大西正悦 ⑲田澤

佳世子 ⑲西山ゆかり ⑲上田香

織 ⑲岡野栄輔 ⑲大塚宣之 ⑲山

崎規子 ⑲大沼えみ子 ⑲中野俊

夫 ☆式千円

③金子恵哉 ④山川友枝 ⑤船田

弘子 ⑤山岸みち江 ⑥石垣惟一

⑦大谷信子 ⑧中川登代子 ⑩小

沢雅子 ⑪佐伯正美 ⑪植村園枝

⑪細谷節子 ⑪坂本明子 ⑫米倉

裕子 ⑬梶田龍志 ⑬川松子ヨ ⑬

塚田邦広 ⑮佐藤肇 ⑮二上芳郎

⑮松本匡一 ⑮磯幸二 ⑮神田豊

美 ⑮糸井正子 ⑮瀬戸玲子 ⑮平

井伸穂 ⑮井井浩子 ⑮長山昌央

⑮山田きん ⑮天海誠 ⑮飯島幸

雄 ⑮三條三枝子 ⑮高田とし子

⑮前野峯子 ⑮渡辺利雄 ⑮桜井

登志子 ⑮沢辺澄 ⑮桜井健二 ⑮

岡田好司 ⑮熊谷洋二 ⑮高木二

朗太 ⑮浅岡秀志 ⑮山田滋 ⑮高

橋福見 ⑮糸井主好 ⑮横田富康

⑮東光一 ⑮福田慎吉 ⑮結城國

夫 ⑮竹本豊治 ⑮平良千代子 ⑮

大場秀子 ⑮福井正昭 ⑮安藤富

士男 ⑮山下茂幸 ⑮小久保和夫

⑮岡田主 ⑮永洋子 ⑮齊坂京

子 ⑮伊澤正晃 ⑮木村浩 ⑮岩井

聡 ⑮了戒正人 ⑮小野寺よし子

⑮石塚洋之 ⑮衛藤友親

☆壹千円

①阿部サト ①石原雪江 ①大井

政代 ①小松崎義雄 ①下田久子

①高橋昌子 ②土屋きみ子 ③田中

藤栄江子 ②土屋きみ子 ③田中

利 ③三浦たまよ ④永山芭奈子

④中村幸夫 ④中村和子 ⑤高橋

政栄 ⑥石原和信 ⑥斉藤嘉子 ⑥

藤原モト ⑦高野文 ⑧岡和子 ⑧

鈴木林三 ⑨小沢登貴子 ⑨川村

又又 ⑨竹之内怜子 ⑨吉田美代

子 ⑨原ちえ子 ⑩三宅迪子 ⑩井

上喜弘 ⑩国井トモ子 ⑩相馬輝

子 ⑩小坂八郎 ⑩三好街子 ⑫岩

切秀樹 ⑫三瓶清一郎 ⑫松本真

一 ⑫松本千子 ⑫田島貞次郎

⑫塚本浩子 ⑬松本定久 ⑬鳥美

専二 ⑬小倉早苗 ⑭高柳茂男 ⑭

村野博幸 ⑮荒川リキ ⑮森岡照

子 ⑯大井伸一 ⑯竹村ナミ子 ⑯

日野誠子 ⑯森田昭代 ⑯栗原清

乃 ⑯佐藤美二 ⑯鈴木ヒデ ⑯中

村由子 ⑯藤井宣政 ⑯今井美奈

⑯土屋西治 ⑯長瀬治郎 ⑯山中

武 ⑯會澤浩 ⑯山田和子 ⑯川村

達伸 ⑯中村勇 ⑯長嶋昌子 ⑯広

本義人 ⑯野村正夫 ⑯石川紀代

美 ⑯堀江秀樹 ⑯阿部はるみ ⑯

伊藤進 ⑯小笠原治 ⑯鎮目征幸

⑯勝沼喜夫 ⑯中島準蔵 ⑯布施

宏英 ⑯小林やい ⑯鶴田志かの

⑯森尻英子 ⑯佐藤一雄 ⑯比留

間民子 ⑯別宮裕三 ⑯三好英子

⑯友田満 ⑯三尾英明 ⑯小林静

佳 ⑯中村一男 ⑯下田文子 ⑯本

名文子 ⑯矢野久生 ⑯菅原秀夫

⑯長沢喜代男 ⑯馬場智子 ⑯五

十風侑子 ⑯小川久子 ⑯安部八

郎 ⑯柴田智美 ⑯渡辺正雄 ⑯富

田芳平 ⑯山手義彦 ⑯尾山勝一

⑯曾我慎一 ⑯戸村一三 ⑯新井

兼丸 ⑯安部和夫 ⑯平子清 ⑯渡

辺静江 ⑯増田敏郎 ⑯石田光太

郎 ⑯中溝健二 ⑯渡辺照子 ⑯石

田光吉 ⑯三川良造 ⑯西川信子

⑯高橋耕作 ⑯平野キミイ ⑯吉

野順一 ⑯川村泰司 ⑯篠原よ志

子 ⑯関智四郎 ⑯和田実 ⑯江森

康祐 ⑯馬場今朝美 ⑯岡本草苑

子 ⑯虎谷英平 ⑯井原重光 ⑯賀

来豊文 ⑯名城政博 ⑯川村美都

子 ⑯水上和好 ⑯田島公代 ⑯西

迫大作 ⑯布施安男 ⑯大貫久美

子 ⑯田村元一 ⑯高澤佐恵子 ⑯

山田三義 ⑯工藤文宏 ⑯中島喜

一 ⑯笠井君子 ⑯時重由紀子 ⑯

野口雅子 ⑯平野恵子 ⑯木村全

章 ⑯藤巻と久 ⑯川端女恵子 ⑯

内山直行 ⑯小松せつ子 ⑯今野

晴仁 ⑮山坂良子 ⑯菅原雄二 ⑯

三浦通代 ⑯伊藤義昭 ⑯宇佐美

七海 ⑯鈴木美和 ⑯福安志豪 ⑯

江川清 ⑯下田政一 ⑯筑後かよ

子 ⑯西井一志 ⑯岡部（出倉）

みどり ⑯上村弘江 ⑯鈴木繁次

郎 ⑯田中伸明 ⑯小玉誠 ⑯鈴木

啓一 ⑯小野紘緑 ⑯佐藤良一 ⑯

中島好亜希 ⑯小泉鐵夫 ⑯高亀

義雄 ⑯水野博 ⑯中山圭子 ⑯西

森健一 ⑯本持英児 ⑯尾崎正美

⑯内司和彦 ⑯田中美登 ⑯橋詰

兼一 ⑯伊地知啓介 ⑯遠藤久孝

⑯寺由美子 ⑯大石たま子 ⑯高

橋極清 ⑯矢部暢大 ⑯青木幹夫

⑯久保達彦 ⑯岩下禎夫 ⑯木村

龍一郎 ⑯佐々木毅 ⑯下倉義正

⑯田中真司 ⑯天野幸好 ⑯高野

智史 ⑯関裕子 ⑯中村和泰 ⑯品

川康弘 ⑯真船智子 ⑯斉藤和加

子 ⑯鈴木喜也 ⑯瀬田松悦子 ⑯

宮本健一 ⑯伊草茂信 ⑯藤野京

子 ⑯三村公明 ⑯中塩千穂子 ⑯

本間博 ⑯江藤久男 ⑯金井俊潔

⑯角田龍太郎 ⑯瀬田益民 ⑯中

田健二 ⑯藤木明 ⑯川村武 ⑯山

口直孝 ⑯田中久雄 ⑯田村嘉明

⑯大嶋有子 ⑯岡田錬 ⑯新田淑

子 ⑯平井正子 ⑯石井勝雄 ⑯小

野朋子 ⑯入江徹 ⑯金子里美 ⑯

菊田純一 ⑯小松和幸 ⑯鈴木孝

二 ⑯北野しげの ⑯川瀬幹比虎

⑯高内英美 ⑯山崎隆 ⑯宮島恵

美子 ⑯金山直美 ⑯冠木彰夫 ⑯

宮崎美恵 ⑯栗原一郎 ⑯鈴木喜

美子 ⑯北條崇成

日本指圧専門学校同窓会

自 平成16年4月1日
至 平成17年3月31日

決算書・予算案

貸借対照表

〈一般会計〉

収 入 の 部			
	16年度予算	16年度決算	17年度予算案
前年度より繰越	1,351,643	1,351,643	11,718,859
入 会 金	1,920,000	1,860,000	1,860,000
運 営 費	1,500,000	1,668,000	1,700,000
総 会 費	1,500,000	1,018,000	1,500,000
芸能大会会費	250,000	223,800	250,000
預 金 利 息	500	211	250
記念事業引当金戻入	720,000	720,000	1,000,000
特別会計取り崩し	0	10,378,023	0
収 入 合 計	7,242,143	17,219,677	18,029,109
支 出 の 部			
	16年度予算	16年度決算	17年度予算案
総 会 費	1,850,000	1,366,860	1,500,000
芸能大会費	300,000	288,659	300,000
会報発行費	1,250,000	1,260,987	1,500,000
通 信 費	250,000	236,267	250,000
印 刷 費	100,000	0	100,000
渉 外 費	200,000	166,000	200,000
交 通 費	300,000	235,710	300,000
慶弔見舞金	100,000	76,600	100,000
事務用品費	30,000	17,923	30,000
雑 費	50,000	35,812	50,000
名簿入力費	100,000	50,000	50,000
役員会議費	20,000	10,000	50,000
備 品 費	30,000	0	50,000
設備使用料	50,000	36,000	50,000
予 備 費	30,000	200,000	100,000
記念事業引当金繰入	800,000	800,000	800,000
名簿発行費	720,000	720,000	0
記念事業費	0	0	1,000,000
支 出 合 計	6,180,000	5,500,818	6,430,000
次年度繰越	1,062,143	11,718,859	11,599,109

〈特別会計〉

科 目	収入	支出	残高
期首現金残高	8,825,873		
寄 付 金	1,552,150		
一般会計へ		10,378,023	
郵便手数料			
合 計	10,378,023	10,378,023	0

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
現 金	259,350	新規事業引受金	880,000
東京三菱普通口	1,961,095		
郵便貯金口	10,378,414		
		余 剰 金	11,718,859
合 計	12,598,859	合 計	12,598,859

損益計算書

収 入 の 部		
	16年度実績	内 訳
前年度繰越	1,351,643	
入 会 金	1,860,000	48期15,000円×124名
運 営 費	1,668,000	2,000円×834名
総 会 費	1,018,000	101名 808,000円 御祝儀 210,000円
芸能大会会費	223,800	42名 122,000円 御祝儀 70,000円
預 金 利 息	211	預貯金利息
記念事業引当金戻入	720,000	名簿発行代金支払いのため
特別会計取り崩し	10,378,023	本年度寄付金受入 424名 1,552,150円
収 入 の 部 合 計	17,219,677	
支 出 の 部		
	16年度実績	内 訳
総 会 費	1,366,860	茗溪会館 1,228,250円 他
芸能大会	288,659	茗溪会館 248,714円 他
会報発行費	1,260,987	会報25号 (株)旭出版 他
通 信 費	236,267	小石川郵便局 他
印 刷 費	0	
渉 外 費	166,000	指圧協会 母校祝い金
交 通 費	235,710	第1回、第2回運営委員会交通費 他
慶弔見舞金	76,600	指聖供養 生花 浦川氏 持木氏 香典 他
事務用品	17,923	今井文具店 他
雑 費	35,812	委員会お茶代 貸金庫料
名簿入力(情報管理)費	50,000	名簿入力代
役員会議費	10,000	中板橋商店会館
備 品 費	0	
設備使用料	36,000	母校
予 備 費	200,000	新潟中越地震義援金
記念事業引当金繰入	800,000	
名簿発行費	720,000	(株)旭出版
記念事業費	0	
支 出 の 部 合 計	5,500,818	
次年度繰越	11,718,859	

平成17年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 青 木 宏 印
 会計委員 伊 藤 美智子 印
 山 田 紀美子 印
 監 査 中 村 フミ子 印
 田 澤 千代子 印

平成17年度 日本指圧専門学校同窓会 通常総会・懇親会

平成17年度日本指圧専門学校同窓会通常総会、記念講演、懇親会を開催致します。ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

- 一、 と き：平成17年6月12日（日）10時
- 二、 と ころ：茗溪会館2階
文京区大塚1-5-23 電話03(3943)0321
- 交 通：地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 2分
JR池袋駅より車5分
- 三、 内 容：総会(10:00~10:50)
活動報告、会計報告、監査報告、活動計画、予算案
記念講演(11:00~12:00)
パネルディスカッション「指圧実務と保険の取り扱い」(11:00~12:00)
司会パネラー 内城勇造先生
懇親会(12:10~14:30)
- 四、 懇親会費：8,000円(当日納金も可)
- 五、 申 込：同封の郵便為替用紙で懇親会費を前納していただきますと、受け付け事務の混乱が防げますのでご協力をお願い致します。

「浪越徳治郎生誕100年を祝う会」のお知らせ

本年、平成17年11月3日は、浪越指圧創始者・浪越徳治郎先生のご生誕満100周年となります。この佳節に当たり、今秋「浪越徳治郎生誕100年を祝う会」(以下「祝う会」)を下記にご案内の通り、開催する運びとなりました。共々に徳治郎先生の生誕祭を盛大にお祝いしてまいりたいと存じます。

この「祝う会」の開催に伴い、参加者の規模を把握するため、「祝う会」へ参加したいという皆様に、同封のハガキにて参加希望の有無を確認させていただくことになりました。皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、「祝う会」の正式なご案内状は本年9月上旬に送付させていただきます。

記

日 時 平成17年11月3日(木・祝日) 11:00開場 11:30開宴
場 所 東京ドームホテル 地下一階「天空の間」
〒112-8562 東京都文京区後楽1-3-61
JR水道橋駅・丸ノ内線後楽園駅徒歩2分

費 用 20,000円

アトラクション 講談師 神田 紅(かんだくれない)「浪越徳治郎一代記」

お問い合わせ 浪越徳治郎生誕100年を祝う会事務局 担当 芦原・田辺
03(3813)7354

浪越徳治郎生誕100年を祝う会 会 長 浪 越 和 民
実行委員長 長 石 塚 寛
副実行委員長 青 木 宏
稲 場 哲 夫
小 林 秋 朝